

授業科目名	教養特別講座			科目コード	G0101L09
英文名	Liberal arts of special course				
科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 社会生活基礎科目				
職名	教授	担当教員名	尾畑 納子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	集中講義	時限	集中講義		
開講時期	1年・2年・3年・4年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	現代社会では情報技術（IT）の普及により、自分の声、直筆による自己表現や創作活動による表現の機会が減っています。この講義では、上手に自分らしく自己を「表現」することができるためのヒントを提供する機会とします。相手とどのようなコミュニケーション手法が望ましいのか。とりわけ、グローバル化社会において、価値観や言語が異なる世界の人々との交流も含め、皆さんにとって自分らしさの自己表現の在り方を探り、人間力の向上を目指します。各回の講義は、各分野の専門家が講師を務めます。				
キーワード	①表現手法	②コミュニケーション	③人間力	④マナー	⑤
到達目標	①「自己表現する」ための手法について、さまざまな手法とその特色を知ることができる。				
	②自分の特徴や長所を把握・再発見して、より自分らしい表現方法を身に付けることができる。				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	①現代社会に必要な基礎知識の向上		③キャリア・実務能力の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
◎		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	◎		○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「教養特別講義」についてオリエンテーション（現代社会学部 教授 尾畑 納子） 本講義の開設の主旨として、表現の在り方やより良いコミュニケーションについて学ぶ機会として欲しい。スケジュールについて説明する。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	「マナー・しぐさ」とコミュニケーション①（前富山国際大学准教授 斎藤 敏子 氏） ことばと態度を融合させた、しぐさやマナーの視点から伝えるコツを聞く。	
	【予習】	
	【復習】 これまでの自分自身の他者との関係について振り返る	15分
第3回	「マナーとしぐさ」とコミュニケーション②	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	「マナーとしぐさ」とコミュニケーション③	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	本時のまとめ	
	【予習】	
	【復習】 マナーやしぐさに関する講義を聞き、自分の改善したいこと、講義内容で参考になったことなどを整理する	60分
第6回	「顔の表情」とコミュニケーション①（sukai美科学研究所代表、日本顔学会会長 菅沼 薫 氏） 顔の表情など科学的な視点から講義を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	「顔の表情」とコミュニケーション②	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	「顔の表情」とコミュニケーション③	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	「顔の表情」とコミュニケーション④	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	本時のまとめ	
	【予習】	
	【復習】 顔の表情について、これまでの自分自身と講義を聞いてからの顔の表情に対する見解を整理する	60分
第11回	文字媒体とマスコミュニケーション	
	【予習】 関心のあるニュース資料を用意する	
	【復習】 自分らしい新聞記事をつくる	60分
第12回	映像媒体とマスコミュニケーション（元チューリップTV アナウンサー西野 由香氏）	
	【予習】	
	【復習】 映像媒体と文字媒体でのコミュニケーションの違いについてまとめる	60分
第13回	造形制作とコミュニケーション（職芸学院 上野 幸夫教授）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	職場におけるコミュニケーション（殿村幸子氏・尾畑 納子教授）	
	【予習】	
	【復習】 職場におけるコミュニケーションについて理解したことを整理する	20分
第15回	総括（現代社会学部 教授 尾畑 納子） 全体の講義を通して、質疑応答・取りまとめを行う。	
	【予習】 第2回から14回までの学習内容について、資料等に目を通してくる	
	【復習】 コミュニケーションとはなにか。自分自身の表現の在り方について、より良いコミュニケーション力を付けるにはどうしたらよいか。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業時間中の課題（40%）、最終課題レポート（60%）を総合的に評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	授業の時にレジメや資料を配布します。	使用資料 ＜参考図書＞	授業の中で指示します。
授業外学修等	集中講義のため、1日の授業が終了したら、その日の学びの内容について、事後の復習を必ず行い（15分程度）次回の内容につなげてください。 学外講師の都合で各回の順番が変更になることがあることをあらかじめ了承下さい。		
授業外質問方法	講義をしたそれぞれの教員へ直接質問してください。また、email:obata@tuins.ac.jpへ。		
オフィス・アワー	木曜日2時限		

授業科目名	インターンシップ			科目コード	G2501P02
英文名	Internship				
科目区分	観光専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	尾畑 納子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	集中講義	時限	集中講義		
開講時期	1年・2年・3年・4年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	本学においてインターンシップとは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」を指し、事前に学生が取り組む課題を設定し、それに基づき企業や各種機関において短期間の実習・研修を行う制度のことをいう。今日、国際化や情報化の急速な進展、あるいは社会や産業構造の激しい変化により、雇用環境も大きく変わりつつある。その中であって、人材育成の核となる大学には、社会人基礎力を有する人材はもちろん、社会や産業界・企業のニーズに応える人材育成を目指した教育機能の一層の拡充・強化が求められている。このような要請に応えるために、本学のインターンシッププログラムは、産学官の連携により、学生のキャリア形成教育の一環として実施されるものである。				
キーワード	①インターンシップ	②企業研究	③	④	⑤
到達目標	①高い職業意識の育成・啓発：実習・研修を通じ、仕事とは何か、ビジネスはどのように形作られていくのか等についての理解を深め、自らの職業適性や将来設計を考える機会を得る。				
	②学習意欲の向上・教育効果の実現：実習・研修を通じ、これまで大学で学んできたことを確かめるとともに、自らの専攻や研究と関連のある問題や課題を見出し、専門分野への学習意欲を高めたり、深化させたりする。				
	③自主性・責任感のある人材の育成：現実の組織・職場の厳しさを体験することによって、社会人としての自覚を促すとともに、自主性・責任感のある人材の育成に役立てる。				
ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑩専門性をさらに高める実習・演習			③キャリア・実務能力の向上	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	事前研修（1）企業説明会への参加（富山県インターンシップ推進センター主催説明会）	
	【予習】 インターンシップ研修参加希望企業につき予習をしておくこと	30分
	【復習】 説明会で学んだ企業情報を整理しておくこと	30分
第3回	事前研修（2）インターンシップ参加の心得	
	【予習】	
	【復習】 企業研究ノートを作成し、整理しておくこと	30分
第4回	事前研修（3）マナー講座①（身だしなみ）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	事前研修（4）テーマ発表	
	【予習】 インターンシップ参加にあたり設定したテーマに関するプレゼンテーションを準備しておくこと	90分
	【復習】 テーマ発表で受けたアドバイスのもとで修正点、改善点につき検討しておくこと	30分
第6回	事前研修（5）マナー講座②（マナー研修Part1）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	事前研修（5）マナー講座③（マナー研修Part2）	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	事前研修（6）事前面談（就職アドバイザーとの個人面談）	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	企業研修（1）	
	【予習】	
	【復習】 日報の作成	60分

第10回	企業研修（2）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第11回	企業研修（3）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第12回	企業研修（4）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第13回	企業研修（5）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第14回	事後研修（1） 報告書の作成	
	【予習】日報や企業研究ノートをもとに報告書の原案を作成しておくこと	90分
	【復習】教員による添削をもとに報告書を修正すること	60分
第15回	事後研修（2）研修報告会	
	【予習】研修成果に関するプレゼンテーション内容を準備しておくこと	60分
	【復習】	
第16回	事後研修（3）インターンシップ学内報告会	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	事前・事後研修、研修先での実習・研修に対する評価、事後レポートを総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	適宜資料を配布する。	使用資料 ＜参考図書＞	
授業外学修等	インターンシップ申込み、実習方法等は受入企業により異なるため、自主性・責任感をもって取り組んでください。		
授業外質問方法	質問にはオフィスアワー以外にも対応します（メール可）。		
オフィス・アワー	木曜日 3 限		

授業科目名	専門演習Ⅱ（卒研含む）			科目コード	G2504F12
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)				
科目区分	観光専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	佐藤 悦夫		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	2限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位		
授業の概要	昨年研究してきたテーマをさらに発展させ、卒論という形で完結させます。ゼミの時間には自分の卒論の構成を考えながら、関連する論文や史料を読み発表します。ゼミ発表や卒論作成を通して、社会人になっても通用しうる問題分析、資料収集、プレゼンテーション（口頭発表＆報告書作成）の技能を鍛えます。 文献収集にあたっては、概説書、関連論文、一次資料に区別してそれぞれの収集のための戦略をたて、インターネット、他大学の図書館等を積極的に利用します。				
キーワード	①卒業論文	②	③	④	⑤
到達目標	① 前期の文献調査や夏休みのフィールドを通して卒業論文を仕上げる(90%)				
	② パワーポイントを使って、卒論発表会で発表できる(10%)				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑦観光に関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○			○	

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	前期ガイダンス		
	【予習】		
	【復習】		
第2回	研究の進め方、発表の仕方等について		
	【予習】		
	【復習】		
第3回	卒論研究について		
	【予習】		
	【復習】		
第4回	学生の発表、討論-1(卒論の構成の発表とアドバイス)		
	【予習】		
	【復習】		
第5回	学生の発表、討論(卒論の構成の発表とアドバイス)		
	【予習】		
	【復習】		
第6回	学生の発表、討論(卒論の構成の発表とアドバイス)		
	【予習】		
	【復習】		
第7回	学生の発表、討論(卒論の構成の発表とアドバイス)		
	【予習】		
	【復習】		
第8回	学生の発表、討論(卒論の構成の発表とアドバイス)		
	【予習】		
	【復習】		
第9回	卒論構成の振り返り		
	【予習】		
	【復習】		

第10回	卒論構想発表会の準備-1	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	卒論構想発表会の準備-2	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	夏休みのフィールド計画-1	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	夏休みのフィールド計画-2	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	夏休みのフィールド計画-3	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	まとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	
第17回	後期ガイダンス	
	【予習】	
	【復習】	
第18回	大学際の準備（前期の研究成果のまとめ）-1	
	【予習】	
	【復習】	

第19回	大学際の準備（前期の研究成果のまとめ）-2	
	【予習】	
	【復習】	
第20回	学生の発表、討論（卒論の3章の構成とフィールド調査のまとめ）	
	【予習】	
	【復習】	
第21回	学生の発表、討論（卒論の3章の構成とフィールド調査のまとめ）	
	【予習】	
	【復習】	
第22回	学生の発表、討論（卒論の3章の構成とフィールド調査のまとめ）	
	【予習】	
	【復習】	
第23回	学生の発表、討論（卒論の3章の構成とフィールド調査のまとめ）	
	【予習】	
	【復習】	
第24回	卒論執筆	
	【予習】	
	【復習】	
第25回	卒論執筆	
	【予習】	
	【復習】	
第26回	卒論執筆	
	【予習】	
	【復習】	
第27回	卒論執筆	
	【予習】	
	【復習】	

第28回	卒論執筆		
	【予習】		
	【復習】		
第29回	卒論執筆		
	【予習】		
	【復習】		
第30回	卒論執筆		
	【予習】		
	【復習】		
第31回	卒論発表会の準備		
	【予習】		
	【復習】		
第32回	卒論要旨作成		
	【予習】		
	【復習】		

評価方法	プレゼンテーションの方法・内容、卒業論文の内容、及びゼミへの参加度を総合的に評価します。 また、ディプロマポリシーとの関連においては、①人間性：10%、②社会性：10%、専門性：80%で評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	無し	使用資料 ＜参考図書＞	必要に応じてアドバイス
授業外学修等	ゼミの発表時に教員から指摘されたことについて調査し、次の発表につなげる。		
授業外質問方法	授業終了後ならびにオフィスアワー以外でも研究室に滞在中はいつでも質問を受け付けます。		
オフィス・アワー	火曜日1限（9：30～）		

授業科目名	専門演習Ⅱ（卒研含む）			科目コード	G2504F14
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)				
科目区分	観光専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	助重 雄久		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	2限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位		
授業の概要	フィールドワーク等を主体とした研究調査を行い、卒業論文の作成を進めていく。また、随時就職指導(エントリーシート・履歴書の指導等)や相談も行う。				
キーワード	①卒業論文	②フィールドワーク	③	④	⑤
到達目標	①大学生活4年間の集大成として、フィールドワークや自分で収集したデータの分析を主とした卒業論文を作成することができる。				
	②他のメンバーと協調しながらゼミ活動に取り組むことができる。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑩専門性をさらに高める実習・演習				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		◎		◎	◎

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	卒業論文執筆に向けた現地調査、データ収集、文献解読およびその指導(随時、就職指導も行う)		
	【予習】		
	【復習】 一步一步、卒業論文の完成と就職先の内定に向けて邁進する。 ※「邁進」の意味がわからない場合は調べておくこと。		30分
第2回	卒業論文執筆に向けた現地調査、データ収集、文献解読およびその指導(随時、就職指導も行う)		
	【予習】		
	【復習】 一步一步、卒業論文の完成と就職先の内定に向けて邁進する。		30分
第3回	卒業論文執筆に向けた現地調査、データ収集、文献解読およびその指導(随時、就職指導も行う)		
	【予習】		
	【復習】 一步一步、卒業論文の完成と就職先の内定に向けて邁進する。		30分
第4回	卒業論文執筆に向けた現地調査、データ収集、文献解読およびその指導(随時、就職指導も行う)		
	【予習】		
	【復習】 一步一步、卒業論文の完成と就職先の内定に向けて邁進する。		30分
第5回	卒業論文執筆に向けた現地調査、データ収集、文献解読およびその指導(随時、就職指導も行う)		
	【予習】		
	【復習】 一步一步、卒業論文の完成と就職先の内定に向けて邁進する。		30分
第6回	卒業論文執筆に向けた現地調査、データ収集、文献解読およびその指導(随時、就職指導も行う)		
	【予習】		
	【復習】 一步一步、卒業論文の完成と就職先の内定に向けて邁進する。		30分
第7回	卒業論文執筆に向けた現地調査、データ収集、文献解読およびその指導(随時、就職指導も行う)		
	【予習】		
	【復習】 一步一步、卒業論文の完成と就職先の内定に向けて邁進する。		30分
第8回	卒業論文執筆に向けた現地調査、データ収集、文献解読およびその指導(随時、就職指導も行う)		
	【予習】		
	【復習】 一步一步、卒業論文の完成と就職先の内定に向けて邁進する。		30分

第9回	卒業論文執筆に向けた現地調査、データ収集、文献解読およびその指導(随時、就職指導も行う)	
	【予習】	
	【復習】 一步一步、卒業論文の完成と就職先の内定に向けて邁進する。	30分
第10回	卒業論文構想発表会に向けた準備	
	【予習】 卒業論文の背景と目的、構成、ここまでの進行状況が明確に説明できるよう準備する。	120分
	【復習】	
第11回	卒業論文構想発表会に向けた準備	
	【予習】 卒業論文の背景と目的、構成、ここまでの進行状況が明確に説明できるよう準備する。	120分
	【復習】 一步一步、卒業論文の完成に向けて邁進する。	
第12回	現地調査等で収集したデータの整理・分析およびその指導	
	【予習】	
	【復習】 一步一步、卒業論文の完成に向けて邁進する。 就職の内定をいただけていない学生は、全力で企業研究に取り組み、内定獲得を目指す。	90分
第13回	現地調査等で収集したデータの整理・分析およびその指導	
	【予習】	
	【復習】 一步一步、卒業論文の完成に向けて邁進する。 就職の内定をいただけていない学生は、全力で企業研究に取り組み、内定獲得を目指す。	90分
第14回	現地調査等で収集したデータの整理・分析およびその指導	
	【予習】	
	【復習】 一步一步、卒業論文の完成に向けて邁進する。 就職の内定をいただけていない学生は、全力で企業研究に取り組み、内定獲得を目指す。	90分
第15回	現地調査等で収集したデータの整理・分析およびその指導、授業アンケート	
	【予習】	
	【復習】 夏休みも努力を怠らず、卒業論文の完成に向けて邁進する。	300分
第16回	データの図・表・グラフ化作業およびその指導	
	【予習】	
	【復習】 計画より作業が遅れている場合は、自宅等で進めておく。	60分
第17回	データの図・表・グラフ化作業およびその指導	
	【予習】	
	【復習】 計画より作業が遅れている場合は、自宅等で進めておく。	60分

第18回	データの図・表・グラフ化作業およびその指導	
	【予習】	
	【復習】計画より作業が遅れている場合は、自宅等で進めておく。	60分
第19回	卒業論文下書きの執筆	
	【予習】	
	【復習】計画より作業が遅れている場合は、自宅等で進めておく。	120分
第20回	卒業論文下書きの執筆	
	【予習】	
	【復習】計画より作業が遅れている場合は、自宅等で進めておく。	120分
第21回	卒業論文下書きの提出、修正点の指導	
	【予習】	
	【復習】現地の追加調査が必要な場合は、寒くなって観光地が寂れる前に済ませる。	120分
第22回	卒業論文下書きの提出、修正点の指導	
	【予習】	
	【復習】現地の追加調査が必要な場合は、寒くなって観光地が寂れる前に済ませる。	120分
第23回	卒業論文下書きの提出、修正点の指導	
	【予習】	
	【復習】現地の追加調査が必要なのに済んでいない場合は、大至急済ませる。	120分
第24回	卒業論文提出前最終報告会の準備	
	【予習】ここまでにわかった結果を明快に説明できるよう準備する。	120分
	【復習】	
第25回	卒業論文提出前最終報告会の準備	
	【予習】ここまでにわかった結果を明快に説明できるよう準備する。	120分
	【復習】	
第26回	卒業論文の仕上げと修正	
	【予習】	
	【復習】卒業論文の執筆が遅れている人はアルバイト等をせず、ゼミ以外の日もできるだけ研究室にきて論文を書く。	180分

第27回	卒業論文の仕上げと修正	
	【予習】	
	【復習】 卒業論文の執筆が遅れている人は、ゼミ以外の日も研究室にきて論文を完成させる。 既に卒業論文が仕上がった人は見直しをして、さらに良い論文に仕上げる。	180分
第28回	卒業論文の仕上げと修正	
	【予習】	
	【復習】 卒業論文の提出までもはや一刻の猶予もない。ゼミ以外の日も長時間研究室に籠もり、論文を完成させる。 既に卒業論文が仕上がった人は見直しをして、さらに良い論文に仕上げる。	240分
第29回	卒業論文発表会の準備、論文要旨の執筆	
	【予習】 卒業論文の要点を簡潔かつ明快に説明できるよう準備する。	120分
	【復習】	
第30回	卒業論文発表会の準備、論文要旨の執筆、授業アンケート	
	【予習】 卒業論文の要点を簡潔かつ明快に説明できるよう準備する。	120分
	【復習】	
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	卒業研究の内容(ルーブリックに基づく卒業論文の評価 60%、卒業研究発表 10%、ゼミでの他の活動や受講姿勢 30%) 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【ディプロマポリシー配分比率】①人間性：15%、②社会性：15%、専門性：70%		
使用資料 ＜テキスト＞	資料・データは各自の卒業論文テーマに合わせて、各自で収集すること。	使用資料 ＜参考図書＞	受講生各人のテーマに応じて、随時紹介する。
授業外学修等	・卒業論文は12単位に相当するため、ゼミ時間外もフィールドワークや文献解読、データ整理、論文の執筆に多くの時間を割く必要がある。 ・ゼミ時間外(金曜のゼミ後等)にも随時指導を行う。11月以降は、個別指導を週2～3日行う。 ・就職活動等でやむを得ず欠席する場合は必ず担当教員に連絡すること。		
授業外質問方法	・研究室で随時受けつける(授業・会議・出張等で不在の時間帯を除く)。 ・Eメール(t-suke@tuins.ac.jp)、ゼミのLINEでも受けつける。Eメールの場合は件名と発信者の名前を明記すること。		
オフィス・アワー	木曜 12:45-14:00 研究室		

授業科目名	グローバルキャンパスプログラム（観光）			科目コード	G2504F16
英文名	Global Campus Program (Tourism)				
科目区分	観光専攻科目 - 総合				
職名	講師	担当教員名	谷脇 茂樹		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	集中講義	時限	集中講義		
開講時期	2年・3年・4年通年	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	オーストラリアのシドニーを訪問し、現地の観光施設や世界遺産、IRの動き、観光まちづくりの取り組み状況などを調査する。また、現地の日本政府機関を訪問し、現地事情に関するブリーフィングを受けるほか、現地に進出している日本企業を訪問し、現地での事業活動などについてヒアリングし、専門性を高めるとともに、受講者のキャリア支援につなげていく。				
キーワード	①地域調査	②観光まちづくり	③異文化共生	④コミュニケーション	⑤
到達目標	①他国（オーストラリア）の観光現場を見聞することで観光地比較分析の手法を理解する。				
	②オーストラリアの観光振興策、地域振興策を理解する。				
	③日本とオーストラリアの経済社会関係を理解し、多文化共生、国際人に求められる能力を理解する。				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	⑦観光に関する専門性の向上		⑥幅広く多様な専門知識の修得		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
◎	◎	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○		○	◎	○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	事前指導 ・授業の目的・概要、目指すべきゴールと評価方法等の説明	
	【予習】	
	【復習】 調査先の概要等の取りまとめ	60分
第2回	事前指導 ・オーストラリアの経済・社会環境について	
	【予習】	
	【復習】 調査先の概要等の取りまとめ	60分
第3回	日本政府機関でのブリーフィング① ・JETROを予定	
	【予習】	
	【復習】 訪問先で説明を受けた内容の取りまとめ	60分
第4回	日本政府機関でのブリーフィング② ・日本政府観光局（JNTO）を予定	
	【予習】	
	【復習】 訪問先で説明を受けた内容の取りまとめ	60分
第5回	日本政府機関でのブリーフィング③ ・国際交流基金を予定	
	【予習】	
	【復習】 訪問先で説明を受けた内容の取りまとめ	60分
第6回	現地大学訪問 ・ニューサウスウェールズ大学を訪問	
	【予習】	
	【復習】 現地の学生との交流を通じて感じたことの取りまとめ	30分
第7回	観光施設の視察調査①	
	【予習】	
	【復習】 視察を通じて気付いた事項等の取りまとめ	30分
第8回	観光施設の視察調査②	
	【予習】	
	【復習】 視察を通じて気付いた事項等の取りまとめ	30分

第9回	観光施設の視察調査③	
	【予習】	
	【復習】視察を通じて気付いた事項等の取りまとめ	30分
第10回	日本政府機関でのブリーフィング③ ・国際交流基金を予定	
	【予習】	
	【復習】訪問先で説明を受けた内容の取りまとめ	60分
第11回	現地日系企業視察① ・JTBを予定	
	【予習】事前研修で調査した企業概要の確認	30分
	【復習】訪問企業でのヒアリング内容の取りまとめ	60分
第12回	現地日系企業視察② ・全日空を予定	
	【予習】事前研修で調査した企業概要の確認	30分
	【復習】訪問企業でのヒアリング内容の取りまとめ	60分
第13回	現地日系企業視察③ ・丸紅を予定	
	【予習】事前研修で調査した企業概要の確認	30分
	【復習】訪問企業でのヒアリング内容の取りまとめ	60分
第14回	現地日系企業視察④ ・ライオンネイサン（キリン）を予定	
	【予習】事前研修で調査した企業概要の確認	30分
	【復習】訪問企業でのヒアリング内容の取りまとめ	60分
第15回	まとめ（事後指導） ・視察研修の内容をもとに、授業全体のまとめを行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	期末試験（レポート課題）	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平常点（授業への参加度：30％）、課題レポート（30％）、期末レポート（40％）で総合的に評価します。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	テキストは使用せず、授業の中で必要に応じてレジュメや資料を配布します。	使用資料 ＜参考図書＞	必要に応じて授業の中で適宜指示します。
授業外学修等	授業では、パワーポイント等を活用します。希望者については、在日オーストラリア大使館を訪問し、事前学習を行います。		
授業外質問方法	授業終了後ならびに研究室滞在中はいつでも質問を受け付けます。 また、Eメール(taniwaki@tuins.ac.jp)でも常に質問を受け付けます。		
オフィス・アワー	火曜日 1 限（9:30～）		

授業科目名	専門演習Ⅱ（卒研含む）			科目コード	G2504F17
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)				
科目区分	観光専攻科目 - 総合				
職名	講師	担当教員名	一井 崇		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	2限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位		
授業の概要	専門演習Ⅰa、bを通じて研究してきたテーマをさらに発展させ、卒論という形で完成させます。ゼミの時間には卒論のテーマの即した参考文献や先行研究についてディスカッションします。ゼミ発表や卒論作成を通して、論理的な思考力や創造力、資料収集、プレゼンテーション（口頭発表&報告書作成）のスキルを習得します。 文献収集にあたっては、大学図書館、論文検索サイト、他大学の図書館等を積極的に活用します。				
キーワード	①卒業論文	②	③	④	⑤
到達目標	① 前期の文献調査や夏休みのフィールドを通して卒業論文を仕上げる(90%)				
	② パワーポイントを使って、卒論発表会で発表できる(10%)				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑦観光に関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○			○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期ガイダンス	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	研究の進め方、発表の仕方等について	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	卒論研究について	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	学生の発表、討論①(卒論の構成の発表とアドバイス)	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	学生の発表、討論②(卒論の構成の発表とアドバイス)	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	学生の発表、討論(卒論の構成の発表とアドバイス)	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	学生の発表、討論③(卒論の構成の発表とアドバイス)	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	学生の発表、討論④(卒論の構成の発表とアドバイス)	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	卒論構成の振り返り	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	卒論構想発表会の準備①	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	卒論構想発表会の準備②	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	夏休みの調査計画①	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	夏休みの調査計画②	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	夏休みの調査計画③	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	まとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	
第17回	後期ガイダンス	
	【予習】	
	【復習】	
第18回	大学際の準備（前期の研究成果のまとめ①）	
	【予習】	
	【復習】	

第19回	大学際の準備（前期の研究成果のまとめ②）	
	【予習】	
	【復習】	
第20回	学生の発表、討論⑤（序論・本論・結論の構成とフィールド調査のまとめ）	
	【予習】	
	【復習】	
第21回	学生の発表、討論⑥（序論・本論・結論の構成とフィールド調査のまとめ）	
	【予習】	
	【復習】	
第22回	学生の発表、討論⑦（序論・本論・結論の構成とフィールド調査のまとめ）	
	【予習】	
	【復習】	
第23回	学生の発表、討論⑧（序論・本論・結論の構成とフィールド調査のまとめ）	
	【予習】	
	【復習】	
第24回	卒論執筆①	
	【予習】	
	【復習】	
第25回	卒論執筆②	
	【予習】	
	【復習】	
第26回	卒論執筆③	
	【予習】	
	【復習】	
第27回	卒論執筆④	
	【予習】	
	【復習】	

第28回	卒論執筆⑤	
	【予習】	
	【復習】	
第29回	卒論執筆⑥	
	【予習】	
	【復習】	
第30回	卒論執筆⑦	
	【予習】	
	【復習】	
第31回	卒論発表会の準備(パワーポイント作成を中心に)	
	【予習】	
	【復習】	
第32回	卒論要旨作成	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	プレゼンテーションの方法・内容、卒業論文の内容、及びゼミへの参加度を総合的に評価します。 ディプロマポリシーとの関連においては、①人間性：10%、②社会性：10%、③専門性：80%で評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	無し	使用資料 ＜参考図書＞	必要に応じてアドバイス
授業外学修等	ゼミの発表時に教員から指摘されたことについて調査し、次の発表につなげる。		
授業外質問方法	授業終了後ならびにオフィスアワー以外でも研究室に滞在中はいつでも質問を受け付けます。		
オフィス・アワー	火曜日1限（9：30～）		

授業科目名	専門演習Ⅱ（卒研含む）			科目コード	G2604F06
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)				
科目区分	観光専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	湯 麗敏		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	4限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位		
授業の概要	専門演習1で学んだことを土台に卒業研究に取り組みます。フィールドワークで研究調査をしてきた内容を整理、分析とまとめをして、卒業論文の作成を進めていきます。また就職活動の支援も行います。				
キーワード	①卒論	②研究	③調査	④就職活動	⑤
到達目標	1：卒業研究された成果を上手にまとめ、立派な卒業論文を仕上げることができる。				
	2：人前で発表する力を身につけることができる。				
	3：目指す企業から内定をもらうことができるようにする。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑦観光に関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
◎	○	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○	◎	○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期ガイダンス	
	【予習】ガイダンス準備	30分
	【復習】春休み中のフィールドワークについて	30分
第2回	卒論研究の取り組みについて	
	【予習】卒論研究の取り組み状況の振りかえる	30分
	【復習】卒論研究の取り組み進捗状況を確認	30分
第3回	春休み中のフィールドワークについて、お互いに紹介する	
	【予習】各自のフィールドワークの紹介準備	30分
	【復習】お互いに発表ができるようにする	30分
第4回	参考になる文献の解読	
	【予習】文献解読の準備	30分
	【復習】文献の理解解釈できるようにする	30分
第5回	研究計画書の作成	
	【予習】計画作成ための準備	30分
	【復習】計画を文章化するように	30分
第6回	発表討論 （研究計画書について）	
	【予習】各自の研究計画を作成	30分
	【復習】各自の研究計画を完成ができるようにする	30分
第7回	各自のテーマに関する研究状況の発表	
	【予習】発表準備	30分
	【復習】発表原稿作成	30分
第8回	各自のテーマに関する研究状況の発表・意見交換	
	【予習】発表原稿の点検	30分
	【復習】発表原稿完成	30分
第9回	調査で収集したデータを整理・分析・まとめ	
	【予習】調査レポート作成準備	30分
	【復習】調査レポート作成準備	30分

第10回	調査で収集したデータを整理・分析・まとめ・発表	
	【予習】調査発表の準備	30分
	【復習】調査発表の準備	30分
第11回	調査で収集したデータを整理・分析・まとめ・発表	
	【予習】発表の結果をまとめ	30分
	【復習】発表の結果をまとめ	30分
第12回	夏休み中フィールドワークのための計画づくり	
	【予習】フィールドワークのための計画づくり準備	30分
	【復習】フィールドワークのための計画づくり準備	30分
第13回	それぞれ必要にあわせて、フィールド調査を行う	
	【予習】計画実行性の確認	30分
	【復習】計画実行性の確認	30分
第14回	必要な資料・データーの収集と確認	
	【予習】関係資料、データの収集方法を考え	30分
	【復習】関係資料、データの収集方法を考え	30分
第15回	必要な資料・データの収集と確認（それぞれ発表する）	
	【予習】調査発表の準備	30分
	【復習】調査発表の準備	30分
第16回	まとめ	
	【予習】フィールドワークの振り返りかえる	30分
	【復習】フィールドワークの成績を判定（良かった点、悪かった点など）	30分
第17回	後期のガイダンス・	
	【予習】各自目標作り	30分
	【復習】各自実行計画作り	30分
第18回	大学祭の展示準備（卒論のテーマと内容）	
	【予習】展示準備（内容揃うように）	30分
	【復習】展示準備（パネルづくり）	30分

第19回	大学祭の展示準備	
	【予習】展示パネル作り	30分
	【復習】展示パネルチェック	30分
第20回	卒論の研究取り組み状況報告	
	【予習】卒論研究進捗報告準備	30分
	【復習】卒論研究進捗報告書作成	30分
第21回	卒論の構想について、意見交換・発表①	
	【予習】卒論の構想発表準備	30分
	【復習】ゼミ生同士でお互いに意見交換、指摘しあうことができるようにする	30分
第22回	卒論の構想について、意見交換・発表②	
	【予習】意見交換、発表準備	30分
	【復習】意見交換、発表することができるようにする	30分
第23回	卒論の下書き提出 修正指示	
	【予習】卒論の初稿が提出できるように準備する	30分
	【復習】卒論の初稿を完成する	30分
第24回	卒論の下書き提出 修正指示	
	【予習】下書きの卒論をよく修正する	30分
	【復習】下書きの卒論を最終チェック	30分
第25回	卒論仕上げる	
	【予習】卒論を提出できるようにする	30分
	【復習】卒論を提出できるように完成する	30分
第26回	卒論完成版提出	
	【予習】卒論を完成版にする	30分
	【復習】完成版の卒論を提出	30分
第27回	発表用の資料作成	
	【予習】発表用の資料作成準備	30分
	【復習】発表原稿を完成できるようにする	30分

第28回	発表③	
	【予習】発表準備	30分
	【復習】発表準備	30分
第29回	卒論要旨の提出	
	【予習】卒論の要旨を準備	30分
	【復習】卒論の要旨を作成	30分
第30回	卒論発表練習	
	【予習】卒論発表準備	30分
	【復習】発表練習	30分
第31回	就職活動について	
	【予習】就職活動の取り組み	30分
	【復習】就職活動の取り組み状況をまとめ	30分
第32回	ゼミ内で活動状況を交流	
	【予習】ゼミ活動を総括	30分
	【復習】ゼミ活動を総括	30分

評価方法	①卒業論文50%、ゼミ活動、フィールドワークなどの参加度30%、プレゼンテーション20%により総合的に評価します。 ②ディプロマ・ポリシーに関しては、人間性20%、社会性20%、専門性60%で評価します。 ③到達目標は「富山国際大学成績評価基準」に従って、評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	随時に紹介します。	使用資料 ＜参考図書＞	ゼミの中で紹介します。
授業外学修等	積極的に文献を読み、問題意識を持ちながら、必要な資料やデーターをすすんで収集と分析をしてください。		
授業外質問方法	ゼミ時間以外にも、気楽に研究室に来てください、（授業・会議・出張などの時間帯を除く）質問や相談などいつでも受けます。		
オフィス・アワー	火曜日の2限		

授業科目名	専門演習Ⅱ（卒研含む）			科目コード	G3504F16
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	大谷 孝行		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	4限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位		
授業の概要	このゼミでは、卒論執筆と就職活動を見据えて、物事について深く考え自分で調べる習慣をつけるとともに、他者とのコミュニケーション能力全般を高めるゼミにします。ゼミの進め方としては、各自の予定している卒論テーマに沿って、学生による発表を中心にディスカッション形式でゼミを運営します。				
キーワード	①卒業論文	②引用の仕方	③注の付け方	④プレゼンテーション	⑤
到達目標	①できるだけ課題発見型の卒論のテーマを設定し、課題の解決方法を考えることができる。				
	②卒論執筆にあたって必要な論文作成の技法に基づいて論文を作成することができる。				
	③他者の発表に学びながら、自分の考えを論理的にわかりやすく他者に伝えることができる。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	⑧環境デザインに関する専門性の向上		⑩専門性をさらに高める実習・演習		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	◎	○		○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期オリエンテーション 4年次の過ごし方。学期の目標。履修指導。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	卒論テーマの設定(1) 各人が卒論テーマの候補を挙げる。	
	【予習】 各自、自分の卒論テーマの候補を考えておく。	60分
	【復習】	
第3回	卒論テーマの設定(2) 各人が挙げた卒論テーマの候補の中からテーマを絞る。	
	【予習】 各自、卒論テーマの候補に関して、何を明らかにしたいかを考えておく。	60分
	【復習】	
第4回	卒論テーマの設定(3) 各人が卒論テーマを決定する	
	【予習】 各自、自分が最も執筆したい卒論テーマを、その理由とともに決めておく。	60分
	【復習】	
第5回	卒論の構成を考える(1) 卒論執筆にあたって必要な調査方法を考える(1)。	
	【予習】 卒論で明らかにしたいことを考えながら、どのように調べるのかという手法を考えておく。	60分
	【復習】	
第6回	卒論の構成を考える(2) 卒論執筆にあたって必要な調査方法を考える(2)。	
	【予習】 卒論で明らかにしたいことを考えながら、どのように調べるのかという手法を考えておく。	60分
	【復習】	
第7回	卒論テーマにそった発表 (1) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】 事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第8回	卒論テーマにそった発表(2) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】 事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	

第9回	卒論テーマにそった発表(3) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第10回	卒論テーマにそった発表(4) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第11回	卒論テーマにそった発表(5) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第12回	卒論テーマにそった発表(6) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第13回	卒論テーマにそった発表(7) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第14回	卒論テーマにそった発表(8) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第15回	卒論中間発表会にむけた準備	
	【予習】	
	【復習】 中間発表会のリハーサルを各自でする。	60分
第16回	夏休みに向けた計画を立てる 卒論執筆にあたって必要な夏休み中の活動計画を立てる。	
	【予習】	
	【復習】	

第17回	後期オリエンテーション 単位取得状況の確認。学期の目標。履修指導。	
	【予習】	
	【復習】	
第18回	アカデミックスキルの習得 卒業論文作成の技法。引用の仕方、参考文献の明示。	
	【予習】	
	【復習】	
第19回	卒論テーマにそった発表 (9) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】 事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第20回	卒論テーマにそった発表(10) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】 事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第21回	卒論テーマにそった発表(11) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】 事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第22回	卒論テーマにそった発表(12) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】 事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第23回	卒論テーマにそった発表(13) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】 事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第24回	卒論テーマにそった発表(14) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】 事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	

第25回	卒論テーマにそった発表(15) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第26回	卒論テーマにそった発表(16) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第27回	卒論テーマにそった発表(17) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第28回	卒論テーマにそった発表(18) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第29回	卒論テーマにそった発表(19) 輪番制で1～2名ずつ卒論テーマにそった発表を行う。	
	【予習】事前に配付されたプリントに目を通し、質問を考えておく。	60分
	【復習】	
第30回	卒論発表会に向けた予行練習(1)	
	【予習】	
	【復習】各自、自分の発表のリハーサルをしておく。	60分
第31回	卒論発表会に向けた予行練習(2)	
	【予習】	
	【復習】各自、自分の発表のリハーサルをしておく。	60分
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 1 及び 3 については、授業中の発表を中心に評価します。(60%) 到達目標項目 2 については、作成された卒業論文を中心に評価します。(40%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 ②社会性：30%、③専門性：70%		
使用資料 ＜テキスト＞	特に使用しません。	使用資料 ＜参考図書＞	授業中に随時指定します。
授業外学修等	自分のレジュメの準備をしっかりとするとともに、他の学生のレジュメを事前に読んで、質問を考えておくこと。		
授業外質問方法	オフィスアワー等を利用して、直に質問をしてください。		
オフィス・アワー	月曜日 3 時限、324 研究室		

授業科目名	専門演習Ⅱ（卒研含む）			科目コード	G3504F18
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	高橋 ゆかり		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	2限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位		
授業の概要	これまで学んできたことを土台にして卒業研究に取り組む。前期は自分の研究テーマに関連する論文の紹介も行う。後期は、卒業研究の目的、実験や調査の方法や結果、考察をまとめて論文を仕上げる。また、卒業研究において得られた結果を発表する。				
キーワード	①卒業論文	②調査・実験	③環境	④	⑤
到達目標	①自分で設定したテーマについて、計画に沿って調査や研究を実施できる。				
	②調査や実験などによって得られた結果からどのようなことがいえるか考察できる。				
	③研究テーマに沿って卒業論文をまとめ、成果を発表できる。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑧環境デザインに関する専門性の向上		⑩専門性をさらに高める実習・演習		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○			○	◎

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、卒業研究に向けて 一年間のスケジュールを確認する。また、卒業研究の進め方について学ぶ。	
	【予習】 特に定めない	
	【復習】	
第2回	課題研究① 個別に与えられた課題について調査する。	
	【予習】	
	【復習】 調査して得られたことをまとめる。	120分
第3回	課題研究② 個別に与えられた課題について調査する。	
	【予習】	
	【復習】 調査して得られたことをまとめる。	120分
第4回	課題研究③ 個別に与えられた課題について調査する。	
	【予習】	
	【復習】 調査して得られたことをまとめる。	120分
第5回	課題研究④ 個別に与えられた課題について調査する。	
	【予習】	
	【復習】 調査して得られたことをまとめる。	120分
第6回	研究計画書の作成	
	【予習】 これまでの課題研究で調べたことをもとに、卒業研究の内容を検討し、スケジュールを作成する。	120分
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第7回	文献紹介と各自のテーマに関する発表①	
	【予習】 自分の研究テーマに関連する文献を紹介する。また、自分の研究の進捗について発表する。	120分
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第8回	文献紹介と各自のテーマに関する発表②	
	【予習】 自分の研究テーマに関連する文献を紹介する。また、自分の研究の進捗について発表する。	120分
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分

第9回	文献紹介と各自のテーマに関する発表③	
	【予習】自分の研究テーマに関連する文献を紹介する。また、自分の研究の進捗について発表する。	120分
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第10回	各自のテーマに関する実験・調査① 各自、卒業研究のテーマに沿った実験や調査を実施する。	
	【予習】実験や調査の内容を予習し、手際よく取り組めるようにする。	60分
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第11回	各自のテーマに関する実験・調査② 各自、卒業研究のテーマに沿った実験や調査を実施する。	
	【予習】実験や調査の内容を予習し、手際よく取り組めるようにする。	60分
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第12回	各自のテーマに関する実験・調査③ 各自、卒業研究のテーマに沿った実験や調査を実施する。	
	【予習】実験や調査の内容を予習し、手際よく取り組めるようにする。	60分
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第13回	各自のテーマに関する実験・調査④ 各自、卒業研究のテーマに沿った実験や調査を実施する。	
	【予習】実験や調査の内容を予習し、手際よく取り組めるようにする。	60分
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第14回	卒論中間発表会に向けての準備	
	【予習】卒論中間発表の構想を考え、準備を始める。	60分
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む。	120分
第15回	中間発表 自分の研究の背景、目的、方法、進捗状況を順序立てて発表する。	
	【予習】発表の準備をする。	120分
	【復習】発表の際に受けたコメントなどを参考にして、自分の研究計画を見直し、必要に応じて修正する。	60分
第16回	研究の進捗と今後の予定の確認 研究の進捗状況について報告するとともに、今後のスケジュールを確認する。	
	【予習】	
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分

第17回	各自のテーマに関する実験・調査④ 各自、卒業研究のテーマに沿った実験や調査を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第18回	各自のテーマに関する実験・調査④ 各自、卒業研究のテーマに沿った実験や調査を行う。	
	【予習】	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第19回	各自のテーマに関する実験・調査④ 各自、卒業研究のテーマに沿った実験や調査を行う。	
	【予習】	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第20回	研究の進捗についての発表① これまでの進捗について発表し、意見交換を行うとともに、追加で調査や研究が必要な項目を整理する。	
	【予習】 進捗について発表内容と配布資料を準備する。	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第21回	研究の進捗についての発表② これまでの進捗について発表し、意見交換を行うとともに、追加で調査や研究が必要な項目を整理する。	
	【予習】 進捗について発表内容と配布資料を準備する。	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第22回	卒業論文作成、討論① 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第23回	卒業論文作成、討論② 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第24回	卒業論文作成、討論③ 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分

第25回	卒業論文作成、討論④ 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第26回	卒業論文作成、討論⑤ 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第27回	卒業論文作成、討論⑥ 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第28回	卒業論文作成、討論⑦ 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第29回	卒業論文作成、討論⑧ 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	120分
第30回	研究発表の準備と練習 卒業論文の成果を発表用にまとめる。	
	【予習】 卒業研究発表で発表する内容について考えておく。	60分
	【復習】 必要に応じて発表用資料を修正する。	60分
第31回	卒業研究発表会 卒業研究の背景、目的、方法、得られた成果について発表する。	
	【予習】 プレゼンテーションの準備をする。	120分
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業や卒業研究への積極的取り組み姿勢(40%)、卒業論文の内容（60%）により評価する。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【ディプロマポリシー配分比率】専門性：80%、社会20%		
使用資料 ＜テキスト＞	必要に応じて資料を配布する。	使用資料 ＜参考図書＞	研究テーマに応じて紹介する
授業外学修等	授業時間外にも実験や調査、データの整理、卒業論文の作成などにかなり時間をかけて取り組む必要があります。 授業中に発表する場合、十分に準備して授業に臨むこと。		
授業外質問方法	授業終了後、オフィスアワー、およびEメール		
オフィス・アワー	月曜日 4 限、440研究室		

授業科目名	専門演習Ⅱ（卒研含む）			科目コード	G3504F22
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	川本 聖一		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	3限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位		
授業の概要	本学の住環境分野に関する授業は、「住環境デザインⅠ」「住環境デザインⅡ」「住環境デザイン演習」「都市空間デザイン」である。その中で、「住環境デザインⅠ」と「住環境デザインⅡ」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人としての一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター試験」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を目指している。「住環境デザイン演習」では、プレゼンテーション力の養成、「都市空間デザイン」では、住環境産業の理解を行ってきた。学んだ知識や問題意識に基づき、「専門演習Ⅰ」で行った卒業研究のテーマの絞り込みに従い、4年間の学習の成果を卒業論文をまとめることによって集大成する。（担当教員：企業での実務経験豊富）（関連SDGs：目標7、目標11、目標12）				
キーワード	①研究計画	②プレゼンテーション	③地域と住宅	④住宅設計	⑤住宅生産
到達目標	①研究計画を立案しそれを実行できる。				
	②研究論文をまとめることができる。				
	③研究発表をおこなうプレゼンテーション力を身につける。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑥環境デザインに関する専門性の向上			⑩専門性をさらに高める実習・演習	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	◎	○	／	／	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
／	◎	／	○	○	○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年間の計画とテーマ設定	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第2回	卒業論文の進め方	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第3回	調査研究の方法	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第4回	調査研究の方法	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第5回	卒業研究計画書の報告	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第6回	各自の調査研究	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第7回	各自の調査研究	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第8回	各自の調査研究	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第9回	各自の調査研究	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分

第10回	各自の調査研究	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第11回	中間発表の準備	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第12回	調査結果の図式化	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第13回	調査結果の図式化	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第14回	調査結果の図式化	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第15回	前期の振り返りと今後の研究計画	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第16回	論文提出と発表予定に関する計画	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第17回	各自の調査研究と論文ドラフト	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第18回	各自の調査研究と論文ドラフト	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分

第19回	各自の調査研究と論文ドラフト	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第20回	各自の調査研究と論文ドラフト	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第21回	研究進捗の発表	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第22回	論文ドラフトと検討	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第23回	論文ドラフトと検討	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第24回	論文ドラフトと検討	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第25回	論文ドラフトと検討	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第26回	論文ドラフトと検討	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第27回	論文ドラフトと検討	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分

第28回	論文発表プレゼン準備	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第29回	論文発表プレゼン準備	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第30回	4年間の振り返り	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末考査は行わない。毎回のゼミで各自の課題解決に向けた取り組み状況の報告とその後の計画を確認していく。取り組み状況の結果と、そこに至るプロセスを総合的に評価する。ゼミに毎週出席すればいいのではなく、自分で計画を立て、それを実行し、問題点をゼミの中で確認し、その改善を次週に実行していくことができたかを評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。		
使用資料 ＜テキスト＞	テキスト：オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリ	使用資料 ＜参考図書＞	授業の内容はLINE上にアップするので、予習・復習に活用することができる。必要に
授業外学修等	授業以外に、各自との個人面談を実施し、前期においてゼミ合宿を行う予定である。また、「北陸の家づくり設計コンペ」にグループで参加予定である。また、適切な学会発表を予定している。		
授業外質問方法	オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メール、SNS、にて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやSNSにて行うことを希望する。 メールアドレス：kawamoto@tuins.ac.jp SNS: https://www.facebook.com/Kawamoto.Laboratory?ref=aymt_homepage_panel		
オフィス・アワー	木曜日 2 時限（10：40～12：10） 研究室（439室）にて		

授業科目名	グローバルキャンパスプログラム（環境デザイン）			科目コード	G3504F23
英文名	Global Campus Program (Environmental Design)				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	上坂 博亨		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	集中講義	時限	集中講義		
開講時期	2年・3年・4年通年	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	デンマークのユトランド半島中央部の様々なエネルギー関連施設と学校などの視察を通して、環境先進国デンマークの多様な環境と教育・福祉政策の一端にふれ、健全で持続的な社会形成について学び考える。 デンマークは1972年のオイルショック以来、たった2%に過ぎなかった自国のエネルギー自給率を高め、一方で「人が資源である」という考え方のもとで徹底的に国民を守り育てる政策を実行してきました。その結果、エネルギー自給率は1997年には100%を達成、すべての国民が無料で教育と医療を受ける事ができ、高齢者が活躍できる社会が形作られてきました。この研修では現地滞在6日間の間に、デンマークの多様な環境と教育・福祉政策の一端にふれ、健全で持続的な社会形成について学び考えます。				
キーワード	①持続的社会	②エネルギー	③教育と福祉	④風力	⑤バイオマス
到達目標	①デンマークのエネルギー政策の方針を理解し、どのような具体的な方策（設備や活動）を行っているかについて概要を説明できる				
	②デンマークの国造り（教育・環境・福祉など）の考え方の一部を理解し、自分の言葉で説明できる。				
	③1週間の海外生活と、小学生や地域の方とのコミュニケーションを通して、日本と異なる文化や習慣を理解する。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）		2.国際人としての能力（専門性の向上）		
カリキュラムポリシー	⑥環境デザインに関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
				◎	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<事前指導> デンマークのエネルギー政策と教育・福祉政策および現在までの歩みについて、昨年までの研修に基づいて解説する	
	【予習】デンマークの地理的および国勢的な概要についてインターネットなどで調べておく	20分
	【復習】学んだことに基づいて自分なりに興味をもったポイントを意識化し、自分のテーマを作成する	30分
第2回	<事前指導> 研修全般にわたる行動計画や持ち物・準備などの説明を行う。また自分自身のテーマを作り、様々な視察ポイントの中から自分なりに緩急をつけた調査と理解ができるように、グループで話し合いをする。	
	【予習】①訪問先（小学校・幼稚園）での児童との関わり方についてグループで話合って、披露・紹介する日本の文化について準備をしておく。 ②コペンハーゲンでの観光に備えて、市内の観光スポットの調査と行動計画を作っておく	20分
	【復習】事前指導で検討した内容に基づいて、訪問の準備を整える	30分
第3回	<デンマークでの実習> ・初日のレクチャーとして、今回の視察研修で訪問する先々の概要と事前知識を身に付ける。（Mr. Kenji Stephan Suzuki）	
	【予習】（特になし）	
	【復習】今回の視察研修で訪問するそれぞれの場所について、配布された資料に基づいて理解を深めておく	30分
第4回	<デンマークでの実習> 家畜の糞尿を原料として発酵によってメタンガスを生成させる、農家が経営するバイオガスプラントを視察して、プラントの概要と目的や役割について学ぶ	
	【予習】大学および初日のレクチャーで説明されたことを事前に理解しておく	20分
	【復習】視察メモをまとめる	30分
第5回	<デンマークでの実習> 完全物質循環を実現しているデンマークの農家と、有機酪農をおこなっている農家を訪問して、技術と考え方を学ぶ	
	【予習】大学および初日のレクチャーで説明されたことを事前に理解しておく	20分
	【復習】視察メモをまとめる	30分
第6回	<デンマークでの実習> ウアンホイ介護センターを訪問し、デンマークにおける福祉の考え方と経済性について理解する	
	【予習】大学および初日のレクチャーで説明されたことを事前に理解しておく	20分
	【復習】視察メモをまとめる	30分
第7回	<デンマークでの実習> デンマークの再生可能エネルギー利用の中心となる風力発電について、陸上ウィンドファームを訪問して風車の実態を視察し、その原理や稼働状態を学ぶ	
	【予習】大学および初日のレクチャーで説明されたことを事前に理解しておく	20分
	【復習】視察メモをまとめる	30分
第8回	<デンマークでの実習> ウアンホイにおける地域の廃棄物集積所を訪問し、地域における廃棄物リサイクルの考え方と50種類におよぶ分別収集の実態を学ぶ	
	【予習】大学および初日のレクチャーで説明されたことを事前に理解しておく	20分
	【復習】視察メモをまとめる	30分

第9回	<デンマークでの実習> ウアンホイ小学校と幼稚園を訪問し、特に英語教育を中心としてデンマークにおける学校教育の考え方と実践例を学ぶ。	
	【予習】 大学および初日のレクチャーで説明されたことを事前に理解しておく	20分
	【復習】 視察メモをまとめる	30分
第10回	<デンマークでの実習> デンマークにおける電力源の一環となる廃棄物発コージェネ電所を訪問する。ここでは様々な燃料（可燃廃棄物、麦わら、バイオガスなど）を用いて蒸気タービンによる発電を行い、その余熱を熱水として地域に供給しており、その仕組みを学ぶ	
	【予習】 大学および初日のレクチャーで説明されたことを事前に理解しておく	20分
	【復習】 視察メモをまとめる	30分
第11回	<デンマークでの実習> ウアンホイ地区の地域暖房会社を訪問し、太陽熱・麦わら・バイオガスなどによる温湯の生産と地域への熱供給の管理の仕組みや考え方を学ぶ	
	【予習】 大学および初日のレクチャーで説明されたことを事前に理解しておく	20分
	【復習】 視察メモをまとめる	30分
第12回	<デンマークでの実習> 世界最大のシェアを持つ風力発電会社であるVESTAS社を訪問し、歴史と技術、またデンマークの風力発電の状況などについて学ぶ	
	【予習】 大学および初日のレクチャーで説明されたことを事前に理解しておく	20分
	【復習】 視察メモをまとめる	30分
第13回	<デンマークでの実習> 日本の三菱重工（株）とデンマークのVESTAS社の合併会社であるMHI-VESTAS社を訪問し風力発電ビジネスの実態を学ぶ。MHI-VESTAS社はVESTAS社の風力発電機のプロジェク化から設置設計・施工・運用・管理を行う実践会社である。	
	【予習】 大学および初日のレクチャーで説明されたことを事前に理解しておく	20分
	【復習】 視察メモをまとめる	30分
第14回	<デンマークでの実習> 世界で最も幸福度の高いデンマークを作り出してきた人々の文化と気風を理解するために、コペンハーゲン観光をとおして歴史や文化に触れる	
	【予習】 大学および初日のレクチャーで説明されたことを事前に理解しておく	20分
	【復習】 視察メモをまとめる	30分
第15回	<事後指導> 各人が最も興味をもった側面（テーマ）に沿って、一連の視察をパワーポイントにまとめて発表する	
	【予習】 視察メモをまとめ、必要に応じてインターネットなどで情報の補強を行っておく	20分
	【復習】 （特になし）	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	研修先での積極的な参加および質問などの発言、ならびにレポート提出等にて総合的に評価する		
使用資料 ＜テキスト＞	特になし	使用資料 ＜参考図書＞	事前研修にて提示
授業外学修等			
授業外質問方法			
オフィス・アワー			

授業科目名	専門演習Ⅱ（卒研含む）			科目コード	G3504F24
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	上坂 博亨		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	2限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位		
授業の概要	3年までの予備研究を基礎として、各自のテーマにそって卒業研究をすすめる 【SDGs目標：7】				
キーワード	①エネルギー	②再生可能	③文献調査	④地域理解	⑤
到達目標	①主体的に研究計画を立て、テーマに合った手法で課題解決ができる。				
	②論文スタイルで結果をまとめることができる。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑧環境デザインに関する専門性の向上		⑩専門性をさらに高める実習・演習		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
			○	◎	○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、卒業研究に向けて 一年間のスケジュールを確認する。また、卒業研究の進め方について学ぶ。	
	【予習】 特に定めない	
	【復習】	
第2回	課題研究① 個別に与えられた課題について調査する。	
	【予習】	
	【復習】 調査して得られたことをまとめる。	
第3回	課題研究② 個別に与えられた課題について調査する。	
	【予習】	
	【復習】 調査して得られたことをまとめる。	
第4回	課題研究③ 個別に与えられた課題について調査する。	
	【予習】	
	【復習】 調査して得られたことをまとめる。	
第5回	課題研究④ 個別に与えられた課題について調査する。	
	【予習】	
	【復習】 調査して得られたことをまとめる。	
第6回	研究計画書の作成	
	【予習】 これまでの課題研究で調べたことをもとに、卒業研究の内容を検討し、スケジュールを作成する。	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第7回	文献紹介と各自のテーマに関する発表①	
	【予習】 自分の研究テーマに関連する文献を紹介する。また、自分の研究の進捗について発表する。	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第8回	文献紹介と各自のテーマに関する発表②	
	【予習】 自分の研究テーマに関連する文献を紹介する。また、自分の研究の進捗について発表する。	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	

第9回	文献紹介と各自のテーマに関する発表③	
	【予習】自分の研究テーマに関連する文献を紹介する。また、自分の研究の進捗について発表する。	
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第10回	各自のテーマに関する実験・調査① 各自、卒業研究のテーマに沿った実験や調査を実施する。	
	【予習】実験や調査の内容を予習し、手際よく取り組めるようにする。	
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第11回	各自のテーマに関する実験・調査② 各自、卒業研究のテーマに沿った実験や調査を実施する。	
	【予習】実験や調査の内容を予習し、手際よく取り組めるようにする。	
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第12回	各自のテーマに関する実験・調査③ 各自、卒業研究のテーマに沿った実験や調査を実施する。	
	【予習】実験や調査の内容を予習し、手際よく取り組めるようにする。	
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第13回	各自のテーマに関する実験・調査④ 各自、卒業研究のテーマに沿った実験や調査を実施する。	
	【予習】実験や調査の内容を予習し、手際よく取り組めるようにする。	
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第14回	卒論中間発表会に向けての準備	
	【予習】卒論中間発表の構想を考え、準備を始める。	
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む。	
第15回	中間発表 自分の研究の背景、目的、方法、進捗状況を順序立てて発表する。	
	【予習】発表の準備をする。	
	【復習】発表の際に受けたコメントなどを参考にして、自分の研究計画を見直し、必要に応じて修正する。	
第16回	研究の進捗と今後の予定の確認 研究の進捗状況について報告するとともに、今後のスケジュールを確認する。	
	【予習】	
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	

第17回	各自のテーマに関する実験・調査④ 各自、卒業研究のテーマに沿った実験や調査を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第18回	各自のテーマに関する実験・調査④ 各自、卒業研究のテーマに沿った実験や調査を行う。	
	【予習】	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第19回	各自のテーマに関する実験・調査④ 各自、卒業研究のテーマに沿った実験や調査を行う。	
	【予習】	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第20回	研究の進捗についての発表① これまでの進捗について発表し、意見交換を行うとともに、追加で調査や研究が必要な項目を整理する。	
	【予習】 進捗について発表内容と配布資料を準備する。	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第21回	研究の進捗についての発表② これまでの進捗について発表し、意見交換を行うとともに、追加で調査や研究が必要な項目を整理する。	
	【予習】 進捗について発表内容と配布資料を準備する。	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第22回	卒業論文作成、討論① 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第23回	卒業論文作成、討論② 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第24回	卒業論文作成、討論③ 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】 自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	

第25回	卒業論文作成、討論④ 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第26回	卒業論文作成、討論⑤ 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第27回	卒業論文作成、討論⑥ 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第28回	卒業論文作成、討論⑦ 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第29回	卒業論文作成、討論⑧ 自分の研究テーマにそって卒業論文を作成し、論文の内容について意見交換を行う。	
	【予習】	
	【復習】自分の卒業研究テーマに沿って研究に取り組む	
第30回	研究発表の準備と練習 卒業論文の成果を発表用にまとめる。	
	【予習】卒業研究発表で発表する内容について考えておく。	
	【復習】必要に応じて発表用資料を修正する。	
第31回	卒業研究発表会 卒業研究の背景、目的、方法、得られた成果について発表する。	
	【予習】プレゼンテーションの準備をする。	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	参加度20% 論文50%、プレゼンテーション30%		
使用資料 ＜テキスト＞	テーマに応じて必要なテキストを利用する	使用資料 ＜参考図書＞	
授業外学修等	フィールドワーク（調査、実験、まとめ）は、授業時間外に行うこともある。		
授業外質問方法	前半のゼミは実験や調査結果に対しての指導がメインとなるため、必要な実験や調査などは授業時間外に行わねばならない。実験や調査には何日もかけて行うのが普通である。また、後半は、ゼミ時間にデータ分析や論文原稿を持ち寄って個別又は全体での議論を行うので、事前準備が肝要である。		
オフィス・アワー	月曜日1限目・436室		

授業科目名	インターンシップ			科目コード	G3507P03
英文名	Internship				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	尾畑 納子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	集中講義	時限	集中講義		
開講時期	1年・2年・3年・4年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	本学においてインターンシップとは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」を指し、事前に学生が取り組む課題を設定し、それに基づき企業や各種機関において短期間の実習・研修を行う制度のことをいう。今日、国際化や情報化の急速な進展、あるいは社会や産業構造の激しい変化により、雇用環境も大きく変わりつつある。その中であって、人材育成の核となる大学には、社会人基礎力を有する人材はもちろん、社会や産業界・企業のニーズに応える人材育成を目指した教育機能の一層の拡充・強化が求められている。このような要請に応えるために、本学のインターンシッププログラムは、産学官の連携により、学生のキャリア形成教育の一環として実施されるものである。				
キーワード	①インターンシップ	②企業研究	③	④	⑤
到達目標	①高い職業意識の育成・啓発：実習・研修を通じ、仕事とは何か、ビジネスはどのように形作られていくのか等についての理解を深め、自らの職業適性や将来設計を考える機会を得る。				
	②学習意欲の向上・教育効果の実現：実習・研修を通じ、これまで大学で学んできたことを確かめるとともに、自らの専攻や研究と関連のある問題や課題を見出し、専門分野への学習意欲を高めたり、深化させたりする。				
	③自主性・責任感のある人材の育成：現実の組織・職場の厳しさを体験することによって、社会人としての自覚を促すとともに、自主性・責任感のある人材の育成に役立てる。				
ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑩専門性をさらに高める実習・演習			③キャリア・実務能力の向上	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	事前研修（1）企業説明会への参加（富山県インターンシップ推進センター主催説明会）	
	【予習】 インターンシップ研修参加希望企業につき予習をしておくこと	30分
	【復習】 説明会で学んだ企業情報を整理しておくこと	30分
第3回	事前研修（2）インターンシップ参加の心得	
	【予習】	
	【復習】 企業研究ノートを作成し、整理しておくこと	30分
第4回	事前研修（3）マナー講座①（身だしなみ）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	事前研修（4）テーマ発表	
	【予習】 インターンシップ参加にあたり設定したテーマに関するプレゼンテーションを準備しておくこと	90分
	【復習】 テーマ発表で受けたアドバイスのもとで修正点、改善点につき検討しておくこと	30分
第6回	事前研修（5）マナー講座②（マナー研修Part1）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	事前研修（5）マナー講座③（マナー研修Part2）	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	事前研修（6）事前面談（就職アドバイザーとの個人面談）	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	企業研修（1）	
	【予習】	
	【復習】 日報の作成	60分

第10回	企業研修（2）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第11回	企業研修（3）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第12回	企業研修（4）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第13回	企業研修（5）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第14回	事後研修（1） 報告書の作成	
	【予習】日報や企業研究ノートをもとに報告書の原案を作成しておくこと	90分
	【復習】教員による添削をもとに報告書を修正すること	60分
第15回	事後研修（2）研修報告会	
	【予習】研修成果に関するプレゼンテーション内容を準備しておくこと	60分
	【復習】	
第16回	事後研修（3）インターンシップ学内報告会	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	事前・事後研修、研修先での実習・研修に対する評価、事後レポートを総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	適宜資料を配布する。	使用資料 ＜参考図書＞	
授業外学修等	インターンシップ申込み、実習方法等は受入企業により異なるため、自主性・責任感をもって取り組んでください。		
授業外質問方法	質問にはオフィスアワー以外にも対応します（メール可）。		
オフィス・アワー	木曜日 3 限		

授業科目名	専門演習Ⅱ（卒研含む）			科目コード	G4604F18
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)				
科目区分	経営情報専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	高橋 哲郎		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日 木曜日	時限	2限目 2限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位		
授業の概要	各自の研究テーマおよび進行状況をゼミで随時報告し、それについて全員で質疑応答し、仕上げていく。				
キーワード	①卒業論文	②文献収集	③調査	④	⑤
到達目標	①問題意識から出発して、論理的に設定課題を論証、説明できるか、これまでの学生生活の集大成といえるものを仕上げる。				
	②ゼミ生間の交流を促進する。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑨経営情報に関する専門性の向上			⑩専門性をさらに高める実習・演習	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
◎	○	◎	◎	◎	◎

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究計画書の提出、コメント	
	【予習】研究計画書の作成	60分
	【復習】研究計画書の修正	60分
第2回	研究計画書の再提出、コメント	
	【予習】研究計画書の修正	60分
	【復習】研究を進める	60分
第3回	研究計画書の承認。再修正を求める場合もある。	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】研究を進める	60分
第4回	研究進捗状況の報告	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】	60分
第5回	研究進捗状況の報告	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】研究を進める	60分
第6回	研究進捗状況の報告	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】研究を進める	60分
第7回	研究進捗状況の報告	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】研究を進める	60分
第8回	研究進捗状況の報告	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】研究を進める	60分
第9回	研究進捗状況の報告	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】研究を進める	60分

第10回	研究進捗状況の報告	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】研究を進める	60分
第11回	研究進捗状況の報告	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】研究を進める	60分
第12回	研究進捗状況の報告	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】研究を進める	60分
第13回	研究進捗状況の報告	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】研究を進める	60分
第14回	卒論中間発表会（1回目）のための準備	
	【予習】発表のためのパワーポイント作成	60分
	【復習】発表のためのパワーポイント作成	60分
第15回	卒論中間発表会（1回目）のための準備	
	【予習】発表のためのパワーポイント作成	60分
	【復習】発表のためのパワーポイント作成	60分
第16回	研究進捗状況の報告	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】研究を進める	60分
第17回	研究進捗状況の報告	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】研究を進める	60分
第18回	研究進捗状況の報告	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】研究を進める	60分

第19回	研究進捗状況の報告	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】研究を進める	60分
第20回	研究進捗状況の報告	
	【予習】研究を進める	60分
	【復習】研究を進める	60分
第21回	卒論中間発表会（2回目）のための準備	
	【予習】発表のためのパワーポイント作成	60分
	【復習】発表のためのパワーポイント作成	60分
第22回	卒論中間発表会（2回目）のための準備	
	【予習】発表のためのパワーポイント作成	60分
	【復習】発表のためのパワーポイント作成	60分
第23回	論文作成指導	
	【予習】論文作成	60分
	【復習】論文作成	60分
第24回	論文作成指導	
	【予習】論文作成	60分
	【復習】論文作成	60分
第25回	論文作成指導	
	【予習】論文作成	60分
	【復習】論文作成	60分
第26回	論文作成指導	
	【予習】論文作成	60分
	【復習】論文作成	60分
第27回	論文作成指導	
	【予習】論文作成	60分
	【復習】論文作成	60分

第28回	論文要旨作成のための指導	
	【予習】要旨作成	60分
	【復習】要旨作成	60分
第29回	論文要旨集作成のための指導	
	【予習】要旨作成	60分
	【復習】要旨作成	60分
第30回	発表準備指導	
	【予習】パワーポイント作成	60分
	【復習】発表準備	60分
第31回	発表準備指導 リハーサル	
	【予習】パワーポイント作成	60分
	【復習】発表準備	60分
第32回	卒論発表会	
	【予習】発表準備	60分
	【復習】	

評価方法	ゼミでの取組姿勢、卒論作成準備状況(50%)、卒業研究の成果(50%) 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【ディプロマポリシー配分比率】専門性：80%、社会性20%		
使用資料 ＜テキスト＞	なし	使用資料 ＜参考図書＞	各自研究テーマの参考文献の探索方法について、随時相談に応ずる。
授業外学修等	卒論作成には、授業時間以外で多くの研究時間を必要とする。十分に時間を確保して取り組むこと。		
授業外質問方法	随時、相談に応じる。		
オフィス・アワー	木曜日 1 時限、130研究室		

授業科目名	専門演習Ⅱ（卒研含む）			科目コード	G4604F18
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)				
科目区分	経営情報専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	佐藤 綾子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	4限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位		
授業の概要	専門演習Iで選択したテーマの研究を発展させ、その成果を卒業論文にまとめます。前期は専門演習Ibで検討した理論構成を見直した上で、そこで想定した研究アプローチに基づき、文献研究、実態調査等に取り組みます。後期はこれらの調査結果に基づいて仮説を検証し、論文を執筆します。（担当教員：企業での実務経験あり）				
キーワード	①経営分析	②財務会計	③公共経営	④	⑤
到達目標	①自らのテーマについて、仮説を設定し、それを検証するプロセスを学ぶ。				
	②上記にもとづく考察および理論を構築する力を身に着ける。				
	③上記を論文、プレゼンテーションにおいて伝達する力を身に着ける。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑩専門性をさらに高める実習・演習				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	◎	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期研究計画に関するガイダンス	
	【予習】これまでの研究成果をまとめておくこと	30分
	【復習】	
第2回	論文構想および研究アプローチの確認① 発表・討論形式で行う	
	【予習】発表資料の準備	30分
	【復習】ゼミの議論にもとづく修正	30分
第3回	論文構想および研究アプローチの確認② 発表・討論形式で行う	
	【予習】発表資料の準備	30分
	【復習】ゼミの議論にもとづく修正	30分
第4回	論文構想および研究アプローチの確認③ 発表・討論形式で行う	
	【予習】発表資料の準備	30分
	【復習】ゼミの議論にもとづく修正	30分
第5回	論文構想に関する展示物作成① 日本語版作成	
	【予習】展示物の準備	30分
	【復習】	
第6回	論文構想に関する展示物作成② 英語版作成	
	【予習】展示物の準備	30分
	【復習】	
第7回	研究内容に関する調査報告① 文献研究、実態研究等の状況につき発表	
	【予習】発表資料の準備	30分
	【復習】ゼミの議論にもとづく修正	30分
第8回	研究内容に関する調査報告② 文献研究、実態研究等の状況につき発表	
	【予習】発表資料の準備	30分
	【復習】ゼミの議論にもとづく修正	30分

第9回	研究内容に関する調査報告③ 文献研究、実態研究等の状況につき発表	
	【予習】発表資料の準備	30分
	【復習】ゼミの議論にもとづく修正	30分
第10回	研究内容に関する調査報告④ 文献研究、実態研究等の状況につき発表	
	【予習】発表資料の準備	30分
	【復習】ゼミの議論にもとづく修正	30分
第11回	中間発表の準備① 調査事項をまとめ、レジュメ、パワーポイントを作成する	
	【予習】発表資料の準備	30分
	【復習】ゼミの議論にもとづく修正	30分
第12回	中間発表の準備② 調査事項をまとめ、レジュメ、パワーポイントを作成する	
	【予習】発表資料の準備	30分
	【復習】ゼミの議論にもとづく修正	30分
第13回	中間発表の準備③ 調査事項をまとめ、レジュメ、パワーポイントを作成する	
	【予習】発表資料の準備	30分
	【復習】ゼミの議論にもとづく修正	30分
第14回	ゼミにおける中間発表① 発表及び討論	
	【予習】発表資料の準備	30分
	【復習】ゼミの議論にもとづく修正	30分
第15回	ゼミにおける中間発表① 発表及び討論	
	【予習】発表資料の準備	30分
	【復習】ゼミの議論にもとづく修正	30分
第16回	中間報告会	
	【予習】発表資料の準備	30分
	【復習】	

第17回	後期研究計画に関するガイダンス	
	【予習】これまでの研究成果をまとめておくこと	30分
	【復習】	
第18回	調査・分析① データ分析等により仮説を検証する	
	【予習】調査分析	30分
	【復習】ゼミの議論にもとづく修正	30分
第19回	調査・分析② データ分析等により仮説を検証する	
	【予習】調査分析	30分
	【復習】ゼミの議論にもとづく修正	30分
第20回	調査・分析③ データ分析等により仮説を検証する	
	【予習】調査分析	30分
	【復習】ゼミの議論にもとづく修正	30分
第21回	論文構成の最終確認および論文作成指導	
	【予習】論文執筆	30分
	【復習】指導に基づく修正	30分
第22回	論文作成指導（初稿）①	
	【予習】論文執筆	30分
	【復習】指導に基づく修正	30分
第23回	論文作成指導（初稿）②	
	【予習】論文執筆	30分
	【復習】指導に基づく修正	30分
第24回	論文作成指導（初稿）③	
	【予習】論文執筆	30分
	【復習】指導に基づく修正	30分
第25回	論文作成指導（初稿）④	
	【予習】論文執筆	30分
	【復習】指導に基づく修正	30分

第26回	論文作成指導（初稿）⑤	
	【予習】論文執筆	30分
	【復習】指導に基づく修正	30分
第27回	論文作成指導（最終原稿）①	
	【予習】論文執筆	30分
	【復習】指導に基づく修正	30分
第28回	論文作成指導（最終原稿）②	
	【予習】論文執筆	30分
	【復習】指導に基づく修正	30分
第29回	論文作成指導（最終原稿）③	
	【予習】論文執筆	30分
	【復習】	
第30回	卒業研究発表会準備① 発表及び討論	
	【予習】発表準備	30分
	【復習】指導に基づく修正	30分
第31回	卒業研究発表会準備② 発表及び討論	
	【予習】発表準備	30分
	【復習】指導に基づく修正	30分
第32回	卒業研究発表会	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	卒業論文への取り組みおよびその成果、演習における討論への参加等を総合的に評価する		
使用資料 ＜テキスト＞	適宜、資料を配布する	使用資料 ＜参考図書＞	テーマに応じて文献を紹介する
授業外学修等	卒業論文計画に従い、次週発表・提出物の事前準備を行う。		
授業外質問方法	疑問や質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい（asatoh@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日 1 時限		

授業科目名	専門演習Ⅱ（卒研含む）			科目コード	G4604F28
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)				
科目区分	経営情報専攻科目 - 総合				
職名	准教授	担当教員名	高尾 哲康		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	3限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位		
授業の概要	情報システム構築のための思考能力およびプログラミングスキルを身につけることを継続するとともに、各種アプリケーションシステムやサーバシステムなどの試作・改良を行なう。特に、AI（人工知能）、IoT(Internet of Things)関連の学びを続けていく。研究内容を卒業論文へと仕上げていく。また、随時就職指導(エントリーシート・履歴書の指導等)や相談も行う。オンライン授業（Zoomミーティング）Teamsへのリンク				
キーワード	①卒業論文	②情報システム	③プログラミング	④情報技術	⑤プレゼンテーション
到達目標	①大学生活 4 年間の集大成として、情報システム構築などを通して卒業論文（卒論）を仕上げる。				
	②自信を持てる社会人になることを目指す。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑩専門性をさらに高める実習・演習				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○	◎	○		○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 履修登録 卒論作成に向けた準備作業 データ収集、システムの問題点や改善点の洗い出し、就職指導	
	【予習】	
	【復習】 就職先の選定	30分
第2回	履修登録確認 卒論テーマ確認 システムの問題点や改善点の洗い出し	
	【予習】 Anacondaシステムのアップデート方法	
	【復習】 改良案の検討 就職先の選定	30分
第3回	卒論テーマ確認 システムの問題点や改善点の洗い出し	
	【予習】	
	【復習】 改良案の検討 就職先の選定	30分
第4回	卒論テーマ確認 システムの問題点や改善点の洗い出し 顔認識：face_recognize	
	【予習】	
	【復習】 改良案の検討 就職先の選定	30分
第5回	システム構築作業、プログラミング	
	【予習】	
	【復習】 改良案の検討 就職先の選定	30分
第6回	システム構築作業、プログラミング	
	【予習】	
	【復習】 改良案の検討 就職先の選定	30分
第7回	システム構築作業、プログラミング	
	【予習】 物体識別実験	
	【復習】 改良案の検討 就職先の選定	30分

第8回	システム構築作業、プログラミング	
	【予習】音声合成システムOpen-JTalk	
	【復習】改良案の検討 就職活動	30分
第9回	システム構築作業、プログラミング	
	【予習】	
	【復習】改良案の検討 就職活動	30分
第10回	システム構築作業、プログラミング	
	【予習】VisualStudioCodeでPython開発	
	【復習】改良案の検討 就職活動	30分
第11回	システム構築作業、プログラミング	
	【予習】	
	【復習】卒論の構成、アウトラインの準備 就職活動	60分
第12回	卒論中間発表会に向けた準備作業	
	【予習】	
	【復習】卒論の構成、アウトラインの準備 就職活動	60分
第13回	卒論中間発表会に向けた準備作業	
	【予習】	
	【復習】卒論の構成、アウトラインの準備 就職活動	60分
第14回	卒論中間発表会に向けた準備作業	
	【予習】	
	【復習】卒論の構成、アウトラインの準備 就職活動	60分
第15回	卒論中間発表会に向けた準備作業	
	【予習】	
	【復習】夏休みを利用して研究作業および卒論作成を進める 就職活動	120分

第16回	卒論下書き準備作業	
	【予習】	
	【復習】卒論原稿執筆	60分
第17回	卒論下書き準備作業	
	【予習】	
	【復習】卒論原稿執筆	60分
第18回	卒論下書き準備作業	
	【予習】	
	【復習】卒論原稿執筆	60分
第19回	卒論下書き準備作業	
	【予習】	
	【復習】卒論原稿執筆	60分
第20回	卒論下書き準備作業	
	【予習】	
	【復習】卒論原稿執筆	60分
第21回	卒論下書き準備作業	
	【予習】	
	【復習】卒論原稿執筆	60分
第22回	卒論の総仕上げ	
	【予習】	
	【復習】卒論原稿修正	60分
第23回	卒論の総仕上げ	
	【予習】	
	【復習】卒論原稿修正	60分
第24回	卒論の総仕上げ	
	【予習】卒論原稿修正	60分
	【復習】卒論原稿修正	60分

第25回	卒論の総仕上げ	
	【予習】卒論原稿修正	60分
	【復習】卒論原稿修正	60分
第26回	卒論の総仕上げ	
	【予習】卒論原稿修正	60分
	【復習】卒論原稿修正	60分
第27回	卒論の総仕上げ	
	【予習】卒論原稿修正	60分
	【復習】卒論の完成に向けた作業	60分
第28回	卒論発表会の準備 論文要旨の執筆	
	【予習】卒論の要点を簡潔かつ明確に説明するための準備	120分
	【復習】卒論の完成に向けた作業	120分
第29回	卒論発表会の準備 論文要旨の執筆	
	【予習】卒論の要点を簡潔かつ明確に説明するための準備	120分
	【復習】卒論の完成に向けた作業	120分
第30回	卒論発表会の準備 論文要旨の執筆	
	【予習】卒論の要点を簡潔かつ明確に説明するための準備	120分
	【復習】卒論発表会の準備	120分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	専門演習の受講および研究に取り組む姿勢(20点)、同じゼミ生との協力状況など(20点)、卒論の内容(60点)。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	資料・データ等は、各自のテーマにしたがって各自で収集する。	使用資料 ＜参考図書＞	各自のテーマに応じて、随時紹介する。
授業外学修等	・専門演習時間外でもプログラミングや文献解読、データ整理、論文執筆に多くの時間をかけることになる。 ・専門演習時間外にも随時個別指導を行う。 ・就職活動等でやむを得ず欠席する場合は必ず担当教員に連絡する。		
授業外質問方法	・研究室等で随時受け付け(授業・会議・出張等で不在の時間帯を除く)。 ・Eメール(t-suke@tuins.ac.jp)、ゼミ用SNSで受け付け。		
オフィス・アワー	水曜日 1 時限（425室）		

授業科目名	専門演習Ⅱ（卒研含む）			科目コード	G4604F29
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)				
科目区分	経営情報専攻科目 - 総合				
職名	准教授	担当教員名	河野 信		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	4限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位		
授業の概要	卒業論文作成に向けて、各自のテーマを設定し、文献や報告書等からデータを収集する。収集したデータを、テーマやデータの性質にあわせて適切な方法を選択し、解析を行う。解析した結果から得られる解釈について、多面的に検討する。これら1年間研究してきた成果を論文としてまとめ、プレゼンテーションを行う。 zoomへのリンク				
キーワード	①卒業論文	②データ収集	③データ前処理	④データ解析	⑤
到達目標	①研究テーマに沿ったデータを収集できる（30%）				
	②収集したデータを目的に応じた適切な方法で分析ができる（30%）				
	③分析した結果ならびに考察から、論文ならびにプレゼンテーションを作成できる（40%）				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑩専門性をさらに高める実習・演習				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
◎	◎	◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	◎	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】研究テーマについて検討する	180分
	【復習】研究テーマについて検討する	180分
第2回	研究テーマについて検討する	
	【予習】研究テーマについて検討する	180分
	【復習】研究テーマについて検討する	180分
第3回	研究テーマについて検討する	
	【予習】研究テーマについて検討する	180分
	【復習】研究テーマについて検討する	180分
第4回	研究計画について検討する	
	【予習】研究計画を立てる	180分
	【復習】検討した結果を研究計画に反映させる	180分
第5回	研究計画について検討する	
	【予習】研究計画について検討する	180分
	【復習】検討した結果を研究計画に反映させる	180分
第6回	研究データの収集方法について検討する	
	【予習】研究データの収集方法について検討する	180分
	【復習】研究データの収集方法について検討する	180分
第7回	収集した研究データの解析方法について検討する	
	【予習】収集した研究データの解析方法について検討する	180分
	【復習】収集した研究データの解析方法について検討する	180分
第8回	研究計画にしたがってデータを収集する	
	【予習】研究データの収集方法について確認する	180分
	【復習】収集したデータについて確認する	180分
第9回	研究計画にしたがってデータを収集する	
	【予習】研究データの収集方法について確認する	180分
	【復習】収集したデータについて確認する	180分

第10回	収集したデータの前処理を行う	
	【予習】収集した研究データの解析方法について確認する	180分
	【復習】データ前処理の結果を確認する	180分
第11回	収集したデータの前処理を行う	
	【予習】収集した研究データの解析方法について確認する	180分
	【復習】データ前処理の結果を確認する	180分
第12回	前処理したデータを利用してデータ解析を行う	
	【予習】収集した研究データの解析方法について確認する	180分
	【復習】データ解析結果を確認する	180分
第13回	前処理したデータを利用してデータ解析を行う	
	【予習】収集した研究データの解析方法について確認する	180分
	【復習】データ解析結果を確認する	180分
第14回	得られた解析結果について考察する	
	【予習】収集した研究データの解析方法について確認する	180分
	【復習】考察結果について確認する	180分
第15回	卒業論文の中間発表に向けた発表資料を修正する	
	【予習】卒業論文の中間発表に向けた発表資料を作成する	180分
	【復習】卒業論文の中間発表に向けた発表練習を行う	180分
第16回	解析結果をふまえて、研究計画の再検討を行う	
	【予習】解析結果をふまえて、研究計画の再検討を行う	180分
	【復習】研究計画を修正する	180分
第17回	解析結果をふまえて、研究計画の再検討を行う	
	【予習】解析結果をふまえて、研究計画の再検討を行う	180分
	【復習】研究計画を修正する	180分
第18回	修正した研究計画にしたがって追加データを収集する	
	【予習】研究データの収集方法について確認する	180分
	【復習】収集したデータについて確認する	180分

第19回	修正した研究計画にしたがって追加データを収集する	
	【予習】研究データの収集方法について確認する	180分
	【復習】収集したデータについて確認する	180分
第20回	追加収集したデータの前処理を行う	
	【予習】収集した研究データの解析方法について確認する	180分
	【復習】データ前処理の結果を確認する	180分
第21回	追加収集したデータの前処理を行う	
	【予習】収集した研究データの解析方法について確認する	180分
	【復習】データ前処理の結果を確認する	180分
第22回	前処理したデータを利用してデータ解析を行う	
	【予習】収集した研究データの解析方法について確認する	180分
	【復習】データ解析結果を確認する	180分
第23回	前処理したデータを利用してデータ解析を行う	
	【予習】収集した研究データの解析方法について確認する	180分
	【復習】データ解析結果を確認する	180分
第24回	得られた解析結果について考察する	
	【予習】収集した研究データの解析方法について確認する	180分
	【復習】考察結果について確認する	180分
第25回	得られた解析結果について考察する	
	【予習】収集した研究データの解析方法について確認する	180分
	【復習】考察結果について確認する	180分
第26回	卒業論文を修正する	
	【予習】卒業論文を作成する	180分
	【復習】卒業論文を修正する	180分
第27回	卒業論文を修正する	
	【予習】卒業論文を修正する	180分
	【復習】卒業論文を修正する	180分

第28回	卒業論文を修正する	
	【予習】卒業論文を修正する	180分
	【復習】卒業論文を修正し、提出する	180分
第29回	卒業論文の要旨を修正する	
	【予習】卒業論文の要旨を作成する	180分
	【復習】卒業論文の要旨を修正し、提出する	180分
第30回	卒業論文発表に向けた発表資料を修正する	
	【予習】卒業論文発表に向けた資料を作成する	180分
	【復習】卒業論文発表に向けて発表練習を行う	180分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	卒業研究の内容(ルーブリックに基づいて評価(60%)、卒業研究発表(10%)、ゼミでの他の活動や受講姿勢(30%) なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	各自の研究テーマに応じて、適宜指示します	使用資料 ＜参考図書＞	各自の研究テーマに応じて、適宜指示します
授業外学修等	授業では主に進捗の確認作業が中心になるため、各項目の作業は授業時間外に終わらせておくこと		
授業外質問方法	いつでもどうぞ		
オフィス・アワー	月曜5限		

授業科目名	インターンシップ			科目コード	G4607P06
英文名	Internship				
科目区分	経営情報専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	尾畑 納子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	集中講義	時限	集中講義		
開講時期	1年・2年・3年・4年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	本学においてインターンシップとは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」を指し、事前に学生が取り組む課題を設定し、それに基づき企業や各種機関において短期間の実習・研修を行う制度のことをいう。今日、国際化や情報化の急速な進展、あるいは社会や産業構造の激しい変化により、雇用環境も大きく変わりつつある。その中であって、人材育成の核となる大学には、社会人基礎力を有する人材はもちろん、社会や産業界・企業のニーズに応える人材育成を目指した教育機能の一層の拡充・強化が求められている。このような要請に応えるために、本学のインターンシッププログラムは、産学官の連携により、学生のキャリア形成教育の一環として実施されるものである。				
キーワード	①インターンシップ	②企業研究	③	④	⑤
到達目標	①高い職業意識の育成・啓発：実習・研修を通じ、仕事とは何か、ビジネスはどのように形作られていくのか等についての理解を深め、自らの職業適性や将来設計を考える機会を得る。				
	②学習意欲の向上・教育効果の実現：実習・研修を通じ、これまで大学で学んできたことを確かめるとともに、自らの専攻や研究と関連のある問題や課題を見出し、専門分野への学習意欲を高めたり、深化させたりする。				
	③自主性・責任感のある人材の育成：現実の組織・職場の厳しさを体験することによって、社会人としての自覚を促すとともに、自主性・責任感のある人材の育成に役立てる。				
ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑩専門性をさらに高める実習・演習			③キャリア・実務能力の向上	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	事前研修（1）企業説明会への参加（富山県インターンシップ推進センター主催説明会）	
	【予習】 インターンシップ研修参加希望企業につき予習をしておくこと	30分
	【復習】 説明会で学んだ企業情報を整理しておくこと	30分
第3回	事前研修（2）インターンシップ参加の心得	
	【予習】	
	【復習】 企業研究ノートを作成し、整理しておくこと	30分
第4回	事前研修（3）マナー講座①（身だしなみ）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	事前研修（4）テーマ発表	
	【予習】 インターンシップ参加にあたり設定したテーマに関するプレゼンテーションを準備しておくこと	90分
	【復習】 テーマ発表で受けたアドバイスのもとで修正点、改善点につき検討しておくこと	30分
第6回	事前研修（5）マナー講座②（マナー研修Part1）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	事前研修（5）マナー講座③（マナー研修Part2）	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	事前研修（6）事前面談（就職アドバイザーとの個人面談）	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	企業研修（1）	
	【予習】	
	【復習】 日報の作成	60分

第10回	企業研修（2）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第11回	企業研修（3）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第12回	企業研修（4）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第13回	企業研修（5）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第14回	事後研修（1） 報告書の作成	
	【予習】日報や企業研究ノートをもとに報告書の原案を作成しておくこと	90分
	【復習】教員による添削をもとに報告書を修正すること	60分
第15回	事後研修（2）研修報告会	
	【予習】研修成果に関するプレゼンテーション内容を準備しておくこと	60分
	【復習】	
第16回	事後研修（3）インターンシップ学内報告会	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	事前・事後研修、研修先での実習・研修に対する評価、事後レポートを総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	適宜資料を配布する。	使用資料 ＜参考図書＞	
授業外学修等	インターンシップ申込み、実習方法等は受入企業により異なるため、自主性・責任感をもって取り組んでください。		
授業外質問方法	質問にはオフィスアワー以外にも対応します（メール可）。		
オフィス・アワー	木曜日 3 限		

授業科目名	専門演習Ⅱ（卒研含む）			科目コード	G4704F07
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)				
科目区分	経営情報専攻科目 - 総合				
職名	准教授	担当教員名	伊藤 葵		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	4限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位		
授業の概要	専門演習Ⅱでは、専門演習Ⅰでの学習を深化させ、卒業論文の完成を目指します。早い時期に問題意識を明確にし、どのような研究アプローチで論文を執筆するか議論を進めていきます。また、論文の書き方や資料収集の仕方・分析方法等の準備作業から実際の執筆作業までを具体的に学習します。				
キーワード	①卒業論文	②文献収集	③調査	④	⑤
到達目標	①自らの問題意識から、経営学の理論に基づき仮説を設定し、検証、説明する力を身に付けること。				
	②ゼミ生間での交流を促進すること。				
	③論文の書き方、資料収集の仕方、分析手法について理解すること。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑩専門性をさらに高める実習・演習				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
◎	◎	◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	◎	○			○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期研究計画に関するガイダンス	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	問題意識および仮説の設定、研究アプローチの確認	
	【予習】	
	【復習】 各自の状況に応じて、適宜指示します。	60分
第3回	問題意識および仮説の設定、研究アプローチの確認	
	【予習】	
	【復習】 各自の状況に応じて、適宜指示します。	60分
第4回	問題意識および仮説の設定、研究アプローチの確認	
	【予習】	
	【復習】 研究アプローチの報告準備をしてください。	60分
第5回	研究アプローチの報告	
	【予習】	
	【復習】 報告において指摘された課題等があれば、改善するようにしてください。	60分
第6回	研究アプローチの報告	
	【予習】	
	【復習】 報告において指摘された課題等があれば、改善するようにしてください。	60分
第7回	先行研究の調査	
	【予習】 先行研究の資料を準備してください。	60分
	【復習】 各自の状況に応じて、適宜指示します。	60分
第8回	先行研究の調査	
	【予習】	
	【復習】 各自の状況に応じて、適宜指示します。	60分
第9回	先行研究の調査	
	【予習】	
	【復習】 先行研究の調査報告準備をしてください。	60分

第10回	先行研究の調査報告	
	【予習】	
	【復習】 報告において指摘された課題等があれば、改善するようにしてください。	60分
第11回	先行研究の調査報告	
	【予習】	
	【復習】 報告において指摘された課題等があれば、改善するようにしてください。	60分
第12回	中間報告会の準備	
	【予習】	
	【復習】 各自の状況に応じて、適宜指示します。	60分
第13回	中間報告会の準備	
	【予習】	
	【復習】 各自の状況に応じて、適宜指示します。	60分
第14回	中間報告会の準備	
	【予習】	
	【復習】 各自の状況に応じて、適宜指示します。	60分
第15回	中間報告会	
	【予習】	
	【復習】 報告において指摘された課題等があれば、改善するようにしてください。	60分
第16回	前期統括	
	【予習】	
	【復習】 夏季休業中に、卒業論文の執筆に向けて、必要な資料の収集やフィールドワークを実施してください。	60分
第17回	後期研究計画に関するガイダンス	
	【予習】	
	【復習】 各自の状況に応じて、適宜指示します。	60分
第18回	調査結果の分析	
	【予習】	
	【復習】 各自の状況に応じて、適宜指示します。	60分

第19回	調査結果の分析	
	【予習】	
	【復習】 調査結果の報告準備をしてください。	60分
第20回	調査結果の報告	
	【予習】	
	【復習】 報告において指摘された課題等があれば、改善するようにしてください。	60分
第21回	調査結果の報告	
	【予習】	
	【復習】 報告において指摘された課題等があれば、改善するようにしてください。	60分
第22回	論文構成の最終確認および論文作成指導	
	【予習】	
	【復習】 各自の状況に応じて、適宜指示します。	60分
第23回	論文構成の最終確認および論文作成指導	
	【予習】	
	【復習】 各自の状況に応じて、適宜指示します。	60分
第24回	論文作成指導	
	【予習】	
	【復習】 各自の状況に応じて、適宜指示します。	60分
第25回	論文作成指導	
	【予習】	
	【復習】 各自の状況に応じて、適宜指示します。	60分
第26回	論文作成指導	
	【予習】	
	【復習】 各自の状況に応じて、適宜指示します。	60分
第27回	最終原稿の指導	
	【予習】	
	【復習】 各自の状況に応じて、適宜指示します。	60分

第28回	最終原稿の指導		
	【予習】		
	【復習】各自の状況に応じて、適宜指示します。		60分
第29回	最終原稿の指導		
	【予習】		
	【復習】各自の状況に応じて、適宜指示します。		60分
第30回	卒業研究発表会準備		
	【予習】		
	【復習】各自の状況に応じて、適宜指示します。		60分
第31回	卒業研究発表会準備		
	【予習】		
	【復習】各自の状況に応じて、適宜指示します。		60分
第32回	卒業研究発表会		
	【予習】		
	【復習】		

評価方法	ゼミでの取組姿勢(50%)、卒業研究の成果(50%)、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	各自の卒業論文テーマに応じて、適宜指示します。	使用資料 ＜参考図書＞	各自の卒業論文テーマに応じて、適宜指示します。
授業外学修等	卒論作成には、授業時間以外で多くの研究時間を必要とします。十分に時間を確保して取り組んでください。		
授業外質問方法	疑問や質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認してください（aito@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日1時限		

授業科目名	専門演習Ⅱ（卒研含む）			科目コード	G4704F08
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)				
科目区分	経営情報専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	新森 昭宏		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	4限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位		
授業の概要	卒業論文作成に向けて、研究課題を探索して、研究テーマを設定する。文献調査やデータ収集を行う。収集したデータ・文献を、適切な方法により解析し、考察を行う。最終的な成果を論文としてまとめ、プレゼンテーションを行う。				
キーワード	①卒業論文	②研究課題	③文献調査	④データ分析	⑤文献調査
到達目標	①適切な研究課題を設定し、研究計画を立案できる（30％）。				
	②研究課題に対して、文献調査やデータ収集を適切に行うことができる（30％）。				
	③データ分析結果、文献調査結果を考察し、論文としてまとめるとともにプレゼンテーションを作成できる(40％)。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑩専門性をさらに高める実習・演習				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
◎	○	◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	◎	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】研究テーマについて検討する	180分
	【復習】研究テーマについて検討する	180分
第2回	研究テーマについて検討する	
	【予習】研究テーマについて検討する	180分
	【復習】研究テーマについて検討する	180分
第3回	研究テーマについて検討する	
	【予習】研究テーマについて検討する	180分
	【復習】研究テーマについて検討する	180分
第4回	研究計画について検討する	
	【予習】研究計画を立てる	180分
	【復習】検討した結果を研究計画に反映させる	180分
第5回	研究計画について検討する	
	【予習】研究計画について検討する	180分
	【復習】検討した結果を研究計画に反映させる	180分
第6回	文献・研究データの収集方法について検討する	
	【予習】文献・研究データの収集方法について検討する	180分
	【復習】文献・研究データの収集方法について検討する	180分
第7回	収集した文献・研究データの解析方法について検討する	
	【予習】収集した文献・研究データの解析方法について検討する	180分
	【復習】収集した文献・研究データの解析方法について検討する	180分
第8回	研究計画にしたがって文献・データを収集する	
	【予習】文献・研究データの収集方法について確認する	180分
	【復習】文献・研究データの収集方法について確認する	180分
第9回	研究計画にしたがって文献・データを収集する	
	【予習】文献・研究データを収集する	180分
	【復習】文献・研究データを収集する	180分

第10回	収集した文献・データの取り扱いについて検討する。	
	【予習】収集した文献・データの取り扱いについて確認する	180分
	【復習】収集した文献・データの取り扱い結果を確認する	180分
第11回	収集した文献の読み込み、データの前処理を行う	
	【予習】収集した文献の読み込み、データの前処理方法について確認する	180分
	【復習】収集した文献の読み込み、データの前処理方法について確認する	180分
第12回	収集した文献の読み込み、データの前処理を行う	
	【予習】収集した文献の読み込み、データの前処理方法について確認する	180分
	【復習】収集した文献の読み込み、データの前処理方法について確認する	180分
第13回	文献の読み込み結果を整理する。または、前処理したデータを利用してデータ解析を行う。	
	【予習】文献の読み込み結果を整理する。または、前処理したデータを利用してデータ解析を行う。	180分
	【復習】文献の読み込み結果を確認する。または、前処理したデータを利用したデータ解析の結果を確認する。	180分
第14回	得られた解析結果について考察する	
	【予習】得られた解析結果について考察する	180分
	【復習】考察結果について確認する	180分
第15回	卒業論文の中間発表に向けた発表資料を修正する	
	【予習】卒業論文の中間発表に向けた発表資料を作成する	180分
	【復習】卒業論文の中間発表に向けた発表練習を行う	180分
第16回	解析結果をふまえて、研究計画の再検討を行う	
	【予習】解析結果をふまえて、研究計画の再検討を行う	180分
	【復習】研究計画を修正する	180分
第17回	解析結果をふまえて、研究計画の再検討を行う	
	【予習】解析結果をふまえて、研究計画の再検討を行う	180分
	【復習】研究計画を修正する	180分
第18回	修正した研究計画にしたがって追加データを収集する	
	【予習】研究データの収集方法について確認する	180分
	【復習】収集したデータについて確認する	180分

第19回	修正した研究計画にしたがって追加データを収集する	
	【予習】研究データの収集方法について確認する	180分
	【復習】収集したデータについて確認する	180分
第20回	追加収集したデータの前処理を行う	
	【予習】収集した研究データの解析方法について確認する	180分
	【復習】データ前処理の結果を確認する	180分
第21回	追加収集した文献の調査やデータの前処理を行う	
	【予習】追加収集した文献の調査やデータの前処理を行う	180分
	【復習】追加文献調査結果やデータ前処理結果を確認する	180分
第22回	追加収集した文献の整理を行う。または前処理したデータを利用してデータ解析を行う	
	【予習】追加収集した文献の整理を行う。または前処理したデータを利用してデータ解析を行う	180分
	【復習】文献整理結果、データ解析結果を確認する	180分
第23回	追加収集した文献の整理を行う。または前処理したデータを利用してデータ解析を行う	
	【予習】追加収集した文献の整理を行う。または前処理したデータを利用してデータ解析を行う	180分
	【復習】文献整理結果、データ解析結果を確認する	180分
第24回	得られた解析結果について考察する	
	【予習】得られた解析結果について考察する	180分
	【復習】考察結果について確認する	180分
第25回	得られた解析結果について考察する	
	【予習】得られた解析結果について考察する	180分
	【復習】考察結果について確認する	180分
第26回	卒業論文を修正する	
	【予習】卒業論文を作成する	180分
	【復習】卒業論文を修正する	180分
第27回	卒業論文を修正する	
	【予習】卒業論文を修正する	180分
	【復習】卒業論文を修正する	180分

第28回	卒業論文を修正する	
	【予習】卒業論文を修正する	180分
	【復習】卒業論文を修正し、提出する	180分
第29回	卒業論文の要旨を修正する	
	【予習】卒業論文の要旨を作成する	180分
	【復習】卒業論文の要旨を修正し、提出する	180分
第30回	卒業論文発表に向けた発表資料を修正する	
	【予習】卒業論文発表に向けた資料を作成する	180分
	【復習】卒業論文発表に向けて発表練習を行う	180分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	卒業研究の内容(ルーブリックに基づいて評価(60%)、卒業研究発表(10%)、ゼミでの他の活動や受講姿勢(30%) なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	各自の研究テーマに応じて、適宜指示します	使用資料 ＜参考図書＞	各自の研究テーマに応じて、適宜指示します
授業外学修等	授業では主に進捗の確認作業が中心になるため、各項目の作業は授業時間外に終わらせておくこと		
授業外質問方法	電子メールによる質問はいつでも受け付けます。面談については、電子メールで事前に予約してください。		
オフィス・アワー	月曜2限		

授業科目名	専門演習Ⅱ（卒研含む）			科目コード	G5604F04
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)				
科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - 総合				
職名	准教授	担当教員名	Mark Frank		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	2限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位		
授業の概要	The goal of this seminar class is to guide students from research to completion of a graduation thesis in English.				
キーワード	①Fieldwork	②Textual analysis	③English research	④	⑤
到達目標	Students will learn how to generate effective research topics.				
	Students will master the skills of research in order to find relevant background materials.				
	Students will learn how to generate useful data through textual analysis and surveys.				
ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑤専門分野に共通する基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
◎		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction; registration guidance	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	What is good research? What are the goals and techniques?	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	Developing a topic; preliminary research.	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	Presenting and critiquing topics (1)	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	Presenting and critiquing topics (2)	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	How to find back ground materials	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	Materials evaluation (1)	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	Materials evaluation (2)	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	Creating an annotated bibliography	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	Creating an annotated bibliography 2	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	Generating a data set: textual analysis and survey	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	Creating an effective survey	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	Assembling survey results	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	Basic map of the graduation thesis and timeline	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	Prepare for midterm research presentation	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	(First class of fall semester) Review first semester/discuss summer vacation progress	
	【予習】	
	【復習】	
第17回	Map of research essay to completion: discovering what is lacking	
	【予習】	
	【復習】	
第18回	Finishing the Review of Literature	
	【予習】	
	【復習】	

第19回	Finishing the Review of Literature 2	
	【予習】	
	【復習】	
第20回	How to discuss results of data analysis	
	【予習】	
	【復習】	
第21回	How to discuss results of data analysis 2	
	【予習】	
	【復習】	
第22回	Writing up the discussion section	
	【予習】	
	【復習】	
第23回	Mini-presentation: Discussion section	
	【予習】	
	【復習】	
第24回	Mini-presentation: Discussion section 2	
	【予習】	
	【復習】	
第25回	Writing the introduction 1	
	【予習】	
	【復習】	
第26回	Writing the introduction 2	
	【予習】	
	【復習】	
第27回	Assembling the final thesis	
	【予習】	
	【復習】	

第28回	Assembling the final thesis 2	
	【予習】	
	【復習】	
第29回	Final revision	
	【予習】	
	【復習】	
第30回	Final revision	
	【予習】	
	【復習】	
第31回	Preparation for final presentation	
	【予習】	
	【復習】	
第32回	Presentation	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	Weekly work on thesis, participation in class discussion and classwork, successful completiong of thesis		
使用資料 ＜テキスト＞		使用資料 ＜参考図書＞	
授業外学修等			
授業外質問方法	Mail, Line.		
オフィス・アワー	Wednesday 9:00-10:30		

授業科目名	インターンシップ			科目コード	G5607P01
英文名	Internship				
科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	尾畑 納子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	集中講義	時限	集中講義		
開講時期	1年・2年・3年・4年通年	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	本学においてインターンシップとは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」を指し、事前に学生が取り組む課題を設定し、それに基づき企業や各種機関において短期間の実習・研修を行う制度のことをいう。今日、国際化や情報化の急速な進展、あるいは社会や産業構造の激しい変化により、雇用環境も大きく変わりつつある。その中であって、人材育成の核となる大学には、社会人基礎力を有する人材はもちろん、社会や産業界・企業のニーズに応える人材育成を目指した教育機能の一層の拡充・強化が求められている。このような要請に応えるために、本学のインターンシッププログラムは、産学官の連携により、学生のキャリア形成教育の一環として実施されるものである。				
キーワード	①インターンシップ	②企業研究	③	④	⑤
到達目標	①高い職業意識の育成・啓発：実習・研修を通じ、仕事とは何か、ビジネスはどのように形作られていくのか等についての理解を深め、自らの職業適性や将来設計を考える機会を得る。				
	②学習意欲の向上・教育効果の実現：実習・研修を通じ、これまで大学で学んできたことを確かめるとともに、自らの専攻や研究と関連のある問題や課題を見出し、専門分野への学習意欲を高めたり、深化させたりする。				
	③自主性・責任感のある人材の育成：現実の組織・職場の厳しさを体験することによって、社会人としての自覚を促すとともに、自主性・責任感のある人材の育成に役立てる。				
ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	⑩専門性をさらに高める実習・演習		③キャリア・実務能力の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	事前研修（1）企業説明会への参加（富山県インターンシップ推進センター主催説明会）	
	【予習】 インターンシップ研修参加希望企業につき予習をしておくこと	30分
	【復習】 説明会で学んだ企業情報を整理しておくこと	30分
第3回	事前研修（2）インターンシップ参加の心得	
	【予習】	
	【復習】 企業研究ノートを作成し、整理しておくこと	30分
第4回	事前研修（3）マナー講座①（身だしなみ）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	事前研修（4）テーマ発表	
	【予習】 インターンシップ参加にあたり設定したテーマに関するプレゼンテーションを準備しておくこと	90分
	【復習】 テーマ発表で受けたアドバイスのもとで修正点、改善点につき検討しておくこと	30分
第6回	事前研修（5）マナー講座②（マナー研修Part1）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	事前研修（5）マナー講座③（マナー研修Part2）	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	事前研修（6）事前面談（就職アドバイザーとの個人面談）	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	企業研修（1）	
	【予習】	
	【復習】 日報の作成	60分

第10回	企業研修（2）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第11回	企業研修（3）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第12回	企業研修（4）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第13回	企業研修（5）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第14回	事後研修（1） 報告書の作成	
	【予習】日報や企業研究ノートをもとに報告書の原案を作成しておくこと	90分
	【復習】教員による添削をもとに報告書を修正すること	60分
第15回	事後研修（2）研修報告会	
	【予習】研修成果に関するプレゼンテーション内容を準備しておくこと	60分
	【復習】	
第16回	事後研修（3）インターンシップ学内報告会	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	事前・事後研修、研修先での実習・研修に対する評価、事後レポートを総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	適宜資料を配布する。	使用資料 ＜参考図書＞	
授業外学修等	インターンシップ申込み、実習方法等は受入企業により異なるため、自主性・責任感をもって取り組んでください。		
授業外質問方法	質問にはオフィスアワー以外にも対応します（メール可）。		
オフィス・アワー	木曜日 3 限		